

329-49

新釋
近松傑作全集

索引

明治
43. 11. 28
内交

新釋 近松傑作全集索引目次

あ	一
い	一〇
う	一九
え	二四
お	二七
か	三五
き	四八
く	五五
け	六一
こ	六五
さ	七四
し	八一
す	九七
せ	一〇〇
そ	一〇四
た	一〇六
ち	一一五
つ	一二九
て	一三三
と	一三七

索引目次

赤銅月代	四ノ五六八	上り物	一ノ二三五
あかく	一ノ二四六	秋風に鱸釣る松江の港	三ノ六一〇
あかしあかせし	一ノ三四八	秋ざれ	四ノ三六
縣召し	四ノ九四	秋津君	四ノ三
曉梁王の園	三ノ四七三	秋茄子	三ノ二三七
赤沼入道幸満	四ノ二一五	商ひ冥利	二ノ四四六
あかぬわかれ	二ノ一七四	秋の日	一ノ二二五
他ぬ別れの曉の鐘	四ノ六八三	安居院の小聖	四ノ六九
赤松梅龍	四ノ三四九	悪業	三ノ三〇九
赤前垂	一ノ四七一	悪魚毒蛇の口	一ノ七三六
あがまへた	一ノ三三二	悪七兵衛景清	二ノ五八
阿盛	三ノ五二〇	悪性	一ノ一三〇
赤らむ	二ノ四三〇	悪性金	一ノ二五三
あかりも	四ノ一七二	あくしやう通ひ	一ノ二二一

悪性所	三ノ七〇〇	揚屋	一ノ一五七
芥川	二ノ二九二	揚屋の届け	一ノ二五八
悪に強ければ善にも強し	二ノ一八一	あこうの胴	四ノ二四四
あくの屋	二ノ一三二	阿漕浦の脱船	四ノ二一四
悪法師	三ノ三七三	あこぎなから	四ノ四一一
悪風吹かけ	三ノ七四一	阿漕なこと	一ノ六三六
飽まで食ひ暖に着	三ノ五二二	阿古屋	二ノ六九
あくめ	四ノ六七三	淺黄裏	二ノ七八二
悪友七つ善友三つ	二ノ三四四	淺黄染	一ノ三五九
舉句	一ノ三四七	朝木戸	一ノ四二一
あげ錢	二ノ六四七	淺沓	二ノ二七四
明けて悔しき玉手箱	二ノ二五七	朝込み	二ノ六五四
揚げの日	二ノ六七八	淺茅生	二ノ一七一
總角	四ノ七六一	朝勤參	二ノ五二七

浅漬	二ノ五二一	阿字十方三世佛	二ノ一九七
朝の夜	一ノ四九四	足かせ手かせ	三ノ五八三
旭神明	三ノ一七二	足高山	四ノ七三〇
朝比奈ならば門破り	二ノ五三〇	足手纏ひ	一ノ一六二
朝日山	一ノ二七八	芦に鶯	四ノ三九一
朝ふさ前	二ノ七八八	葦野	二ノ四〇一
朝政	三ノ五二六	足の僻	二ノ六三〇
浅紫の額の筋	四ノ一〇七	葦原國	四ノ四六八
痣丸	二ノ六〇	足曳	三ノ三三三
朝夕に迫り	二ノ六七	足本から鳥が起つ	四ノ三三一
麻より軽く	四ノ二〇一	阿闍世	三ノ四三七
あさる	三ノ五四八	阿闍世太子	三ノ六九六
阿字	一ノ五九六	芦屋釜の下繪	三ノ三二三
足を空に	二ノ六一九	芦屋の里	四ノ五二四

阿闍佛	三ノ六七四	あだて	一ノ四九六
阿闍菩薩	四ノ七四	仇の情	二ノ四二六
飛鳥川	一ノ六八六	あだの格氣	一ノ三二五
飛鳥の社濱の宮	三ノ三四七	あだ人	二ノ九九
明日は伊勢の御縁日	一ノ三八三	あたひの露	二ノ六五三
汗の玉造	一ノ三二六	あだぶのわるい	一ノ六二五
愛宕参りに神を引かれた	一ノ一八四	頭つきは兩替町	一ノ二一一
仇しが浦	一ノ四〇八	頭のかゝり	三ノ三三一
あだしが原	一ノ三五二	あぢ	一ノ四三六
あたしたゝるい	一ノ四四一	あぢきなき世	四ノ五二
仇し野の露	二ノ三五〇	あぢきなし	一ノ四〇三
あだ淨瑠璃	二ノ七四六	味な氣質	四ノ五六四
あたゝかなかすわつば	四ノ一四四	味な事	一ノ二四八
あたゝかに紙子着て仙臺の坊様	一ノ四九二	小豆織のべんがら縞	一ノ二四五

小豆の飯の相伴	三ノ五六五	兄貴	一ノ三六九
梓弓	三ノ一七四	姉き	二ノ一八
熱田大宮司	二ノ五八	あの子	一ノ二〇六
あつたぼこしゆもない	一ノ四七六	あの人	三ノ三二四
吾妻請出す	一ノ二六四	あの人	二ノ四三五
吾妻請出せ山崎與次兵衛	一ノ七一	あの方の質入	一ノ二四八
あて身	四ノ三八一	あの流	二ノ六四一
跡おひ	二ノ三七五	阿房を盡す	一ノ一五八
路じやうり	二ノ七二三	阿房のたらく	二ノ六二八
跡の月の騒動	一ノ三八二	阿房拂	一ノ二四一
跡へん	二ノ七三六	阿防羅刹	二ノ一六四
穴市	一ノ五五一	阿波座の野良鳥	一ノ二四四
あながま	四ノ四三五	裕をせふ	一ノ三三一
あなづる	四ノ一三三	あはせくるりと灸のばゝ	二ノ五二四

粟田口	一ノ二二一	あひやけ	三ノ三三〇
粟津の原	三ノ八〇	扇賣	一ノ六八八
阿波の鳴門	二ノ三三二	扇の芝	二ノ四八八
相縁奇縁	三ノ七七九	扇の女	四ノ二九七
相思草	四ノ三二六	扇風呂	二ノ四六八
合口	一ノ三二七	扇屋	二ノ六八一
合口脱き	四ノ三八一	逢坂の清水	二ノ六三五
あひけん	三ノ四八七	逢坂山	一ノ三二七
合詞	三ノ一三一	あふ瀬を急ぎ	四ノ三四
あひたてなし	二ノ四〇二	油壺か	四ノ四一
會津蠟燭	四ノ一三三	油屋の九平次	二ノ六七七
相仕	三ノ六五一	あべかこ	二ノ七〇三
あひずり	一ノ七三四	あべかこふ	一ノ六六三
相の山	一ノ二六八		四ノ五六三
	二ノ七三一		

阿部家の博士	三ノ四二四	あまへる	一ノ二〇五
蝨	二ノ二一七	編笠島	一ノ四三七
尾	二ノ七二七	網島大長寺	二ノ七九九
天井又右衛門	一ノ二二五	網島の心中	三ノ七六一
尾が崎	二ノ二九三	阿彌陀笠	二ノ四三二
天川珊瑚珠	三ノ三〇二	阿彌陀の光	四ノ四四〇
天逆様	一ノ二六三	網の明神	一ノ二二六
天津かな木	四ノ八〇六	網の目	二ノ三〇三
天の岩戸の明初め	二ノ二二四	案	二ノ三〇三
天野口	一ノ五八九	安元二年	三ノ四六九
あまのさかて	四ノ一四	案じほれ	一ノ一八五
天の鳥船岩船	三ノ六一〇	案内合圖	二ノ三七六
天班駒	三ノ五六八	案内檢見	四ノ四四〇
あまのり	二ノ八五	按のうち物	二ノ二一四

鹽梅よし	三ノ四〇〇	あらがふ	一ノ三三七
あんばく者	四ノ六五〇	嵐	二ノ四一一
あんべら	一ノ七三〇	あらしこ	二ノ四九一
俗細工の鳥	三ノ六五〇	嵐三十郎	一ノ五一六
天地を動かし	一ノ四二一	荒皿	二ノ四九〇
雨にはあらで	四ノ三七	あらない	三ノ二二四
雨による田鏡の島	四ノ三九	荒法師	三ノ七三〇
あも	二ノ四五六	あらはれ渡る足代木	二ノ七八
あやかり物	一ノ六七三	あらし人神	二ノ三七八
あやなき	二ノ六七五	荒人神	二ノ六〇一
あやなや	一ノ三五五	荒布	三ノ一七〇
菖蒲草	一ノ四一〇	あらや橋	二ノ八五
菖蒲の盃	二ノ七二七	股笠	二ノ四九一
菖蒲の節句	二ノ七〇七	有明	四ノ六〇九
			一ノ三五二

ありさま	一ノ四七六	居合	三ノ六〇四
ありじゆし	四ノ二〇五	いぬ島	二ノ三九七
在所	一ノ三三〇	有職	二ノ二二四
有磯の磯鮑	二ノ二八八	いかい	一ノ三三四
有磯の濱	二ノ一七一	いかい兵	四ノ三四九
蟻の穴から堤も崩れる	一ノ四八八	いがき	一ノ三三〇
蟻の如くに集り	二ノ三五七	いかつはいで	二ノ一〇三
蟻の鬚にて須彌山を崩す	四ノ一九九	いかのぼり	二ノ五七八
ありのみ	三ノ七八六	いき方	三ノ七四二
ありべかゝり	一ノ三四七	いきがたり	四ノ三八二
あるじやう	二ノ五〇九	いきずり	一ノ一九一
あれこれ	一ノ一九一	息勢張る	一ノ二二三
あれは古へ天照神	三ノ六〇九	生た釋迦	一ノ一六九

[5]

生たる顔を形見	二ノ九四	生玉の馬場先	三ノ七八八
いきほね	二ノ一〇三	生玉の社	一ノ三二九
生御魂の祝ひ	二ノ六〇四	いくはな	二ノ四二八
生身に餌食	一ノ七四七 二ノ六八六	いけらん内	二ノ七五
生身は死身	一ノ四五五	池田伊丹	二ノ二九三
異形	一ノ四三三	池田炭	一ノ四〇五
いさる	二ノ五六〇	生駒山	二ノ二二七
幾際かゝ	一ノ四三六	いさかひ過ての棒ちきり	二ノ四一四
軍神の血祭	四ノ四三八	いさほし	二ノ二六〇
軍神の手向草	四ノ三三〇	諫め	四ノ五一〇
幾瀬の思ひ	一ノ三八九	いざよひ	一ノ四六五
生玉市之丞	二ノ六〇〇	石賣女	四ノ四三六
生玉神社	三ノ一七一	石の帯	三ノ六〇一
生玉大寶寺	三ノ七七四	石投子	三ノ六〇八

石の鳥居	一ノ四一三	石上	三ノ一六八
石火矢	一ノ二六五	いそもじ	二ノ六七四
いしんじよ	一ノ六七二	いたゞく	四ノ五〇一
醫者は機轉	三ノ四九一	みだけだか	二ノ一三六
石山祭り	三ノ二二三	いたち堀	一ノ二四七
意趣	一ノ一三二	衡の的矢	四ノ六四〇
弩	三ノ五七四	痛手を負はせ	二ノ五五七
柞	四ノ七八四	韋駄天	四ノ三九一
鵜の嘴の喰違ひ	二ノ六四〇	板元	三ノ七二八
五十鈴川	三ノ五六八	一ゑん	一ノ一三六
伊勢講	一ノ三三六	一角	一ノ二四七
いせき	一ノ二二〇	一河の舟、一樹の蔭	三ノ二四六
伊勢のお師	二ノ三七五	一木の松	二ノ二五九
急げば廻る	三ノ二八三	一夏	四ノ一四二

一藝に名あるとは用ひられざる	二ノ二二五	一度は思案二度は不思案	二ノ六三〇
なし		一日芝居見	二ノ四二八
一げん	二ノ五七五	一念三千	二ノ六四
一字銘	一ノ一九八	一年三熱	二ノ二八四
一升入る袋	一ノ五七六	一念の噴患	四ノ七三九
一膳盛	一ノ四九四	一念發起	一ノ三八三
一代若衆にならず	一ノ四七六	市の側	二ノ四八六
市立て	一ノ七五九	市の側の納屋下	二ノ七九四
一中節	一ノ二二五	一の寶物	一ノ一五〇
一ちやうら	二ノ七八二	一番川	三ノ三〇二
一條今出川	三ノ四三〇	市原二の瀬はたえだや	二ノ三二一
一條大宮	二ノ二〇八	市姫	四ノ二二〇
一條の御所様の菊鏝	一ノ一八二	一伍一什	一ノ三三一
一度は榮	一ノ二八六	一分	一ノ二五八

一まさ	二ノ五七三	一災起れば二災	二ノ五二九
意地無地	一ノ五三二	一切經	一ノ五三八
一文一字	一ノ四四五	一左右	二ノ四三六
一門の公卿十六人	三ノ三七二	出石	四ノ六〇〇
一文不通	三ノ六四四	一所不住	三ノ二四二
市村玉柏	二ノ四九〇	一心一念の本佛は	二ノ三六二
異朝	三ノ三七二	一心不亂	一ノ四四二
一夜檢校	一ノ七四三	一生不犯	四ノ九
一里塚	二ノ四四二	一生造惡不斷煩惱	四ノ六二
一家仁あれば一國仁を興し	三ノ五二九	一首に三世	四ノ四七
いつかなく	二ノ六四一	一寸ぬけ	二ノ一八四
いつか都へ歸る山	二ノ二二二	一錢一じ	二ノ六二四
一興	一ノ四一四	一そく	一ノ四六四
一見卒塔婆永離三惡道	三ノ三五三	一息絶斷	四ノ六三

いつち後の末社殿	三ノ一三	一本	三ノ一八四
五つ	四ノ七二八	和泉屋さが	二ノ五七三
五つ緒	四ノ四	いづれとの手前	一ノ三四〇
井筒屋	一ノ二四六	いつわつさび	三ノ七八六
井筒の女	一ノ六七五	井手の山吹	二ノ六四六
一とく	四ノ三四五	位田	四ノ四六七
飯綱	四ノ七二	伊東治郎祐親	三ノ四六九
いつならはしの世渡りや	三ノ三七七	従兄弟同士	三ノ二四八
いつのまにかは秋の風	三ノ三五〇	いとしばや	一ノ二六五
一杯喰ふ	一ノ二一〇	いとしばなげ	一ノ三四八
いつはさもあれ	一ノ三三八	いと娘によい殿持たせ	二ノ三五六
偽りのなき世なりけり神無月	一ノ三五五	絲竹	三ノ一七一
一百三十六地獄	三ノ六一九	いとたけ	四ノ七
一腹一生	三ノ五〇一	絲鬚	三ノ七七
	二ノ二三		

井戸へ釣られた大黒天	四ノ二二二	命おはゆる	一ノ三五六
糸屋の小糸	三ノ一六九	命がらり	一ノ二八〇
稲負鳥	一ノ五二七	命長きは耻多し	四ノ七二七
田舎のうてず	二ノ六三二	命なたね	三ノ八一
異な事	一ノ三五〇	命の相場が一分五厘	三ノ二八八
いなせの便り	二ノ七六	命二つに数珠二連	一ノ四五九
稻妻	一ノ三五七	命三つ有る	三ノ四三〇
稻目	四ノ八八	胃の腑に落ちぬ	二ノ五〇〇
稻村が崎	二ノ三九九	岩井左源太	一ノ二二四
稻荷邊り	一ノ六二九	岩井半四郎	一ノ四二〇
いにしへの馴染	一ノ一五一	岩國の紙	二ノ七八一
犬	二ノ六六八	鱈の頭	四ノ二二七
犬死	一ノ二三五	石清水八幡宮	一ノ六八七
亥猪餅	一ノ二四五	岩代の松	二ノ五四一

いはつき	三ノ八二	いぶせし	二ノ一三四
岩に花咲く	二ノ二〇八	いひなづけ	一ノ一三三
いはねば腹もふくるゝ	二ノ三三三	言分	一ノ一四六
祝ひ月	一ノ一八七	云譯せよ	二ノ一〇〇
岩松村岩水寺	三ノ七三〇	衣服の綺羅	三ノ七三〇
岩屋越	二ノ六五六	いふてな歸らぬ死出の旅	二ノ五七六
茨木童子	四ノ八三〇	云も管槍	四ノ四一八
茨木屋	一ノ二四六	いふる	二ノ二九八
いはれぬ	一ノ六〇七	家を彩色く	三ノ三六〇
いはれぬこと	一ノ一九〇	家つと	四ノ六三
云落ち	二ノ九七	家に争ふ子	二ノ三九一
云ひかけ	一ノ三四〇	家のたばね	四ノ三三三
いひきにてく	一ノ七三七	家の名の扇の風	二ノ一五六
云ひじよ	二ノ四九八	今切れ	一ノ四七九

今咲出し	一ノ三三一	いんげん顔	二ノ三四八
今捨る身にも恐ろし	三ノ二〇三	いんげんこき	二ノ七七九
今に傳へて老松の	二ノ六七四	印綬	三ノ五三八
今の詞で千ばい	一ノ五八二	引導	一ノ二〇五
今の世の廢り物	一ノ二三〇	院の廳	二ノ二六一
今はの時	一ノ三五九	陰陽の神	二ノ二六〇
今宮	三ノ一七一	陰陽の二柱	二ノ六四
今様	三ノ四七三	印籠	一ノ六四二
今六道の次傳馬	一ノ五二七	一口	一ノ二七九
印を結ぶ	三ノ六七五	妹脊山	二ノ二七七
院號	三ノ六六三	居守	二ノ二三三
因果と因果	一ノ二七一	彌石を引寄せ	二ノ二〇〇
因果人	一ノ二二七	いやなもの	二ノ六五〇
因果は下れる車	四ノ二八七	いよしとげんと書いたるはほだし	

の種か花すゝき	一ノ二二三	色の關路	一ノ三四一
薨	二ノ二八四	色の分けしり里しりて	二ノ六一四
入る	三ノ一九一	いろは茶屋	一ノ三七一
煎海鼠	四ノ二二一	色外に顯る	二ノ七五九
入まへ	二ノ四二七	色目	一ノ一九四
異類異形	二ノ一六九	いわうじ	一ノ五一一
圍爐裏	三ノ七四九		
入子鉢	三ノ六四六	うゐかうふりし	二ノ二六二
入性根	二ノ一五	うい坊主	三ノ三七八
いろ	一ノ七七五	有爲無常	一ノ一九六
色ある女房	三ノ五〇八	外郎	三ノ七四一
色駕籠	一ノ四〇九	ういらうつめ	二ノ三三一
色のない酒	一ノ一八四	魚と水	三ノ四二一
いろの濱	二ノ八五	雨甘露法雨感衆生	一ノ六五二

浮べる雲	三ノ三七三	兎の登り坂	四ノ六三七
浮木にあへる盲龜は是三千年の優		うさん	一ノ二四九
曇華	二ノ四二一	うさん物	一ノ一八八
浮島原に御着陣	三ノ五一五	うし起	三ノ四六四
浮名	二ノ七四八	丑寅	二ノ三一九
浮名は捨じ	一ノ三五八	牛の玉鉾	四ノ三八
うきふしの身	一ノ二六〇	氏の耻辱	三ノ三八三
うきふしの談合	一ノ一九六	丑の時祭り	四ノ一三
浮世小路	一ノ二五四	牛は嘶き馬は吼へ	三ノ一七七
浮世じや	一ノ六〇八	宇治橋	四ノ一三
浮世又平重起	三ノ二八一	丑三つ	二ノ七八九
うぐるぐや〜	二ノ二九七	うしや天神の森	一ノ三五六
うげんだ	一ノ三七一	氏より育ち	二ノ五九〇
うさをも芥子の紅鹿子	一ノ六六四	後紐	三ノ九〇

薄茶	二ノ六七九	歌ふは誰ぞ聞くは我	一ノ三五五
薄手	四ノ五九	謠講	一ノ四五一
白取り	一ノ六〇二	歌比丘尼	二ノ四六四
白になりたや	二ノ二六二	内	二ノ二〇四
うそばらの立	二ノ六二一	宇治	二ノ三三二
うそよごれ	一ノ四二六	打違ひ	二ノ六二九
宇陀	三ノ三八二	内からお駕籠	一ノ二五四
右大將家	四ノ六三六	打捨	一ノ二七二
歌くどき	二ノ二九六	打出の小槌	二ノ五四六
うたて	二ノ六三三	打出の濱	一ノ四七七
歌念佛	二ノ四六四	宇治の網代木目を重ね	四ノ七〇
宇多國行	一ノ七一六	内のさだつ	三ノ二二九
歌の中山清閑寺	四ノ三六	打囃し	四ノ八二二
歌ふを聞けば	一ノ三五五	内本町	二ノ四六七
			一ノ三二八

うちやうかんでん	三ノ七八六	温鈍に胡椒	四ノ三二八
宇頂天	二ノ六四六	うてぬ顔	二ノ八五七
卯月	一ノ一四〇	優曇華	二ノ五八一
うつけもの	二ノ五六二	優曇華の客人	三ノ五八九
うつせ貝	一ノ三四一	うらなく	二ノ四六六
うつそり	一ノ三三二	海原	三ノ六〇九
うつ立	三ノ二九三	うなよく	二ノ五〇四
打たり舞ふたり	三ノ七三六	うぬが三昧	三ノ六九四
鞠	二ノ三〇六	卯の刻	三ノ七六九
鞠油掛町	三ノ七三一	卯の時雨	二ノ三六三
鞠草	四ノ一八三	上帯	二ノ三四〇
鞠胡籙	四ノ六五四	上指の矢	三ノ九
大秦	二ノ三二一	後妻打	四ノ八二四
腕なしの振りずんばい	二ノ一〇四	卯はら辰も	三ノ三〇六

上	四ノ二二五	馬廻り	四ノ四二〇
上田村	三ノ七四八	馬屋を得たる	三ノ三八六
うへ寺町	一ノ三二六	馬やろい	一ノ四七六
上町座摩のお旅	三ノ一七二	生れじやう	三ノ七六三
上村吉三郎	一ノ二二四	生れた跡の早め薬	四ノ八五七
上村吉彌	二ノ四九〇	生れぬさきのほつしやう	二ノ三五八
上童	四ノ一五	運	二ノ九二
雨寶童子	四ノ七二九	雲脚	四ノ八四五
馬	一ノ六八九	うん達	一ノ七二九
馬が合ふ	一ノ六九三	梅	二ノ六七五
馬さし	一ノ五一七	梅薫しき	二ノ六三一
馬方	一ノ四七四	梅田堤	一ノ三五六
馬の耳に風	四ノ五六五	梅田橋	二ノ四九〇
馬町	一ノ六〇七	梅田へ行く	二ノ五七六

梅津源左衛門	三ノ四二四	裏判	二ノ五〇二
梅津の里	三ノ四三三	恨み葛の葉	三ノ一四七
うめてさませ	一ノ四五〇	怨めしの眉目容	三ノ三八三
梅永文藏	一ノ二二三	浦安	四ノ三七三
梅の雨	二ノ七〇七	瓜を二つに	二ノ四八七
梅の木	一ノ四九九	賣へぎ	一ノ二一九
梅の宮	二ノ三二七	うるはしく	二ノ二六〇
梅ぼうし	四ノ二二二	嬉し悲しう恭けなし	一ノ三三四
うら	四ノ五〇一	嬉し耻かし寝屋の中	一ノ一四七
うらかた	一ノ二〇一	うろく	二ノ六二六
裏壁かやす	四ノ二〇二	有漏路、無漏路	三ノ一四八
浦島太郎	二ノ二〇六	胡亂	三ノ五七九
裏の裏	三ノ一八六		
うらはづ	三ノ二二八		

〔九〕

ゑいくく	一ノ五四〇	會者定離	三ノ二四六
ゑいくく	二ノ七五〇	えせ笑ひ	一ノ二一〇
ゑいくく	一ノ六六六	繪双紙	三ノ三七五
永延二年	四ノ八三二	越後	一ノ一八〇
叡威	三ノ五二〇	越前布	二ノ六三二
永享八年	四ノ二二二	ゑづ	三ノ三〇五
永曆	三ノ六二七	柄つけの鏡	一ノ四五七
叡慮	四ノ三八	笑壺	二ノ四九二
瑤瑤	二ノ二八五	越羅蜀錦	三ノ五二〇
回向	一ノ四五〇	江戸大坂をひろふせまふする籠	
ゑぐ	二ノ八〇五	屋	二ノ六一六
衛士	四ノ二九六	江戸爲替	四ノ三三三
衛士は烏帽子を傾け	二ノ三四四	穢土の假の世	三ノ二四九
惠心佛	四ノ七	江戸の左右	二ノ六二八
	二ノ一六一		

江戸番	一ノ二〇〇	江間の小四郎	二ノ七八
江戸堀	二ノ四九一	延喜の帝	三ノ三六六
江戸元結に緇子髪	一ノ二二一	偃月の戟	四ノ四四
江戸屋勝二郎	一ノ二四六	ゑん正すけ定	三ノ五二九
江の子島	二ノ四九〇	燕石	三ノ二八八
繪の六法	三ノ三六一	ゑんさう	四ノ二三四
恵方棚	一ノ六〇二	閻浮	二ノ三七二
恵方参り	四ノ三七六	閻浮提金	二ノ一六八
えびす	三ノ一三三	延平王國性爺	三ノ一五
恵比須講	三ノ一七一	延寶六年の春	三ノ五五〇
蛭子顔	一ノ二〇五	鹽谷が妻の艶書	一ノ六二二
恵比須の森	二ノ五三六	鹽冶判官	二ノ三二五
烏帽子	二ノ三九一	ゑもんが馬場	二ノ三三〇
烏帽子屋	四ノ九五	えらが過ぎる	三ノ三〇一
			二ノ四七九

えら骨

二ノ四六〇
三ノ六五四

【お】

おあし	二ノ二九四	おうへ	一ノ三四五
お錢三筋	一ノ四八一	お梅に通を失ふ久米が心	一ノ五六六
おいの	二ノ五三〇	往亡日	四ノ三九八
甥のとの	一ノ二三〇	おる様顔	一ノ三七〇
お家流	二ノ二六	岡崎	四ノ三三八
枅	三ノ一三五	岡崎女郎衆	一ノ四七八
奥州	一ノ二二六	おかさま	二ノ六五七
奥州嫉妬の歌	一ノ二二〇	おか様のさしこみ	一ノ三九〇
奥州武隈の松	三ノ二五六	おかた	一ノ五一二
應神天皇は鱗の尾筒	二ノ二〇七	小川通	二ノ二二二
		岡平	四ノ三九〇
		おかめ與兵衛	二ノ三七三
		おかもじさま格もじ	二ノ六〇〇
		岡山	二ノ二二五
			三ノ六四五

翁の面	一ノ四二一	奥の院	一ノ五九〇
おきに戀路	一ノ四二四	奥の書院	二ノ一六一
荻野	二ノ一五六	奥山	二ノ四〇一
荻野八重桐	二ノ四八九	奥山孫八	二ノ四〇〇
おきまどはせる	四ノ一六八	巨椋堤	二ノ一〇七
おきめ	一ノ五二六	小倉山	二ノ三二一
置きめされつちや	四ノ三五五	おくり號	三ノ二九〇
おきよ所	一ノ四七二	桶皮胴	四ノ二〇二
奥を開ふより口聞け	四ノ七九六	桶取	二ノ一一
おくし	三ノ七〇〇	桶ゆい	四ノ二〇二
奥稿	二ノ二四五	おこい	一ノ二八七
お下し物	四ノ三二三	お志の精靈	三ノ二二三
奥丹波	二ノ六一四	お骨	一ノ五九三
お國腹	四ノ三七一	をさく	四ノ四
	一ノ四七〇		

おざか	二ノ五八九	小關藤の尾	四ノ四九
お先手	一ノ四七一	おぞい	二ノ四五八
小篠の坂	三ノ六六四	恐れぬものこそなかりけり	二ノ六九
押へ	一ノ四七一	おたい	三ノ七四四
押への盃	一ノ二二四	お辰	一ノ三七三
おさめすぎ	四ノ三五〇	おだゆみ	四ノ七三四
お十二銅	三ノ二二三	おちた肴	三ノ七二八
をしごと	一ノ二三二	御乳の親	二ノ二〇四
おしてるや	三ノ七〇六	お乳の人	一ノ四七二
鶯鴎の襖	三ノ二四八	おちる	二ノ八七
お島の心中	一ノ四一〇	おつう	二ノ六〇〇
おしやんす	二ノ七一〇	おつかない	四ノ一七六
おじやれ	一ノ四九三	おつしやれな	一ノ四三一
おしよぼからげ	三ノ三〇五	おつすがひ	四ノ五七

尾筒	四ノ六七五	男みがくやつ	一ノ三三五
おついら馬	一ノ四九七	男文字	四ノ六三六
夫は神にも譬へしもの	二ノ二七四	男山	一ノ二二二
お勤め	一ノ四三九	一昨年 of 大地震	二ノ五五二
お寺	二ノ六五九	おとな	三ノ八六
お寺小姓	一ノ五四七	音無川	三ノ三四八
小寺惣内	二ノ三七五	音なひ	二ノ七九二
おどけ者	四ノ五四	音羽二郎三郎	二ノ四九〇
男ぎれ	一ノ四七二	音羽焼	二ノ六八六
男づく	三ノ一九五	音羽山	二ノ八一
男でもくいでもない	一ノ三三七	おとましや	一ノ三七七
男の我	三ノ六九九	おとまし	三ノ二八九
男の魂	一ノ三三三	おどもり	四ノ二二一
男まさり	一ノ二八一	踊りの崩れ	四ノ七二五
	一ノ二三六		

おどる	一ノ五〇〇	小野小町	四ノ七三〇
同じ事とよ豊川に	二ノ六三三	尾上の松	四ノ一三八
同じ天を戴く	二ノ三八二	おのも	三ノ七九三
同じね	一ノ四九一	伯母をも	一ノ一九五
鬼に鐵棒	一ノ五七四	鐵漿親	三ノ一〇一
鬼のしこ草	四ノ一八二	檻	四ノ一六八
お主	二ノ一〇〇	おは蛇身	三ノ三九
おねば	三ノ七六八	小橋	一ノ四二二
己が古郷の北風	四ノ四一九	お初様のかの夜さり	一ノ四五二
小野川宇源次	三ノ七	お初徳兵衛の其のあか月の	一ノ四六〇
おのがしなゝる出立	二ノ六三	お抜ひ	一ノ二〇二
おのこ	二ノ三二四	お抜ひの練衆	一ノ六二八
おのさま	三ノ一七六	おはりへ行くもの	一ノ七七七
斧の柄も自からとや朽ぬべし	三ノ六一四	おひえ	四ノ三四五

おびえる	一ノ四四二	おへ様	一ノ二〇二
老繁	二ノ二六〇	大井川	二ノ一五〇
柳がざま	一ノ一九一	大内	四ノ六
追風	四ノ七七七	大内育ち	三ノ四四八
お引	四ノ三二五	大江橋	二ノ五七三
老女房のいとく	二ノ五三八	大江山	二ノ七九七
追腹程の御恩	一ノ四八五	大川	四ノ六〇一
老松町	二ノ六〇二	大鎌の犬めら	二ノ七九九
老松の縁橋	二ノ七九七	大雁股	三ノ二二七
お百度	一ノ三三六	大釘の裏をかへさず	二ノ三〇七
お袋とはか	一ノ一九四	大口	二ノ九三
おふする	二ノ一七	大袈裟	二ノ三三四
負ふた門	二ノ六八五	おぼこ	三ノ四七五
御壁書	四ノ二九八	大坂三郷	二ノ四二七
			二ノ五五三

大坂におかれまい	一ノ三三三	大村	三ノ六〇七
逢坂のゆふつげ鳥	三ノ二九九	大門打	一ノ六八四
大高	一ノ四八一	おほやけおぼしてつかふ	二ノ二五九
大竹に蔓	二ノ四〇一	おぼろ駕籠	三ノ二三四
覺束情け最中	三ノ三五四	臍の清水	四ノ七九五
大津のはづれに店借	三ノ二八一	おぼろ花色	二ノ五三五
大坪流の鞍の内	四ノ五六〇	大鷲文吾	二ノ三七四
大手	三ノ五三五	大童	三ノ五六七
大手の見附	三ノ七二八	お前町	二ノ七六九
大殿	一ノ一三四	をみ衣	二ノ一二二
大原野	二ノ三二七	お見舞過分	三ノ七三〇
大振袖の後帯	三ノ二二二	おんあびらうんけん	四ノ七五
大星由良之助	二ノ三七三	おんあぼぎや	一ノ五九五
大幣	一ノ三九九	音楽の役人	一ノ一七四

御から	二ノ二〇八	女の腹切	一ノ二三七
御大事の御所勝	二ノ二二七	女は髪より形より	三ノ六八五
御手を開き給へば一やくの佛舍利	四ノ二〇四	隠密	四ノ二二五
おんでもない	一ノ一四〇	おんらが在所はの	一ノ七五七
おんど	一ノ七五二	お目にぶらさがらぬ	一ノ二〇四
おんども	一ノ七三〇	おもうし	三ノ七三五
女方	三ノ七〇七	俤に立つ	二ノ六七
女嫌やる高野の山に	一ノ五四七	重手代	一ノ一八三
女さがしくて牛賣損ふ	二ノ七五	面伏	四ノ二五
女姿と三輪神	二ノ一七四	思ひ内にあれば色外にあらはる	二ノ六二〇
女とも見えず男なりけり	二ノ五〇六	思ひきれとは死ねとの事か	二ノ六七六
女共	一ノ三九六	思ひ草	四ノ一八二
女のざい	三ノ三三〇	思ひたつきそのあさぎぬ	二ノ三二八
		思ひばか	一ノ三九二

思ひわびたる姿	一ノ三四五	折紙	一ノ一八一
思ふたつほへ當る	一ノ三八九	をりはの乞ひ目	一ノ三二二
親子は一世	二ノ六〇四	折ふし	二ノ三三九
親鮫のつれなさ	一ノ一八五	おりやう	四ノ八三四
親父	二ノ六二二	お禮申す	一ノ一九二
親粒	一ノ一八二	おれとそなたはなんく	一ノ二二一
親のこうけん	一ノ五六七	お室	二ノ三三二
親の耻は娘の耻	二ノ四九八	おろ覺	一ノ四八二
親は太夫買子は天神買ふ	四ノ三三四	おろか	三ノ二四三
お山	一ノ六二四	おろせ	一ノ一八五
お山見じ	一ノ一八八	おろせの長兵衛	一ノ六〇二
お湯殿の子	一ノ二六五		
をりぬ	一ノ四七〇		
おりぬのすだれ	四ノ七六九		
	三ノ二三六		

【か】

改易 一ノ六一九
 凱歌 三ノ五五七
 がいき 三ノ六七四
 皆具 三ノ六五五
 かいこふ 四ノ三一
 介錯 一ノ二三六
 外戚 四ノ五四四
 海道 四ノ一七三
 開帳 四ノ三六
 戒定慧 一ノ一七四
 階老同穴 三ノ二五
 かいどり 三ノ二四八
 介抱 三ノ五四六
 貝吹く降伏悪魔 二ノ六一四
 三ノ六六六

涯分 四ノ一六〇
 かいふる 一ノ七四〇
 かい文 四ノ一三七
 かいらう 二ノ二九三
 更衣 一ノ六二〇
 がう木 三ノ四三三
 がうぎがさつ 一ノ四七二
 幸左衛門 三ノ七二一
 高札 二ノ一〇九
 業ざらし 三ノ六七九
 格子 一ノ六〇四
 格子祝 一ノ三九〇
 格子く 二ノ一五六
 格子女郎 二ノ六三四

麴の色 二ノ七二二
 鮫人が玉 四ノ九〇
 庚申堂 二ノ六五三
 恒沙 四ノ一六五
 業障をはたし 四ノ三四
 恒寂僧都 二ノ二〇五
 恒砂の眷族 二ノ二九〇
 好色 二ノ一七七
 勾踐は石淋を賞め 四ノ二六四
 かうたう 二ノ四四七
 講堂 一ノ三二七
 高津神社 三ノ一七二
 孝徳天皇 四ノ四五二
 業人 一ノ三八三

督の殿 三ノ三八二
 剛の者 二ノ九七
 高師直 二ノ三七七
 かうはい 四ノ三五九
 香盤 四ノ四一八
 香附子 三ノ五〇
 頭に挿せば二月の雪 三ノ四九四
 拷問 三ノ五二八
 高野六十那智八十 三ノ二三八
 高麗 三ノ七七
 高麗橋 四ノ九〇
 蚊龍鼻 三ノ七五〇
 香爐峯の心 三ノ一四
 鴻臚館 四ノ二四六
 四ノ五三三

高皇帝	三ノ六二〇	鏡餅	一ノ一四八
我を立て	一ノ一五二	鏡山	四ノ八〇九
かゝ	一ノ三三三	かゝる身	一ノ二〇六
加階	二ノ一二四	覺市檢校	二ノ三三七
抱へ帯	二ノ二二一	角を入れる	四ノ五六七
	一ノ三五九	格好こそは大ぐれ	二ノ五三七
	二ノ七三九	隔心がましい	三ノ七五〇
加賀笠	三ノ一三三	革柄	四ノ三五〇
案山子	四ノ一一〇	神樂男	三ノ四六六
喚衆	二ノ二〇五	霍亂	二ノ五七五
かゝすおはす	二ノ三四五	學寮	三ノ三七四
加賀菅笠	一ノ二七五	隠れ笠隠れ笥	二ノ六八八
抱への松	二ノ六六三	隠れん坊	二ノ六九〇
鏡	一ノ六〇二	かぐるふ	三ノ四五二
鏡宮	三ノ六〇七		四ノ五二三

かきあてる	一ノ二二五	景清これを見て	四ノ五七二
がきあみ	三ノ三四六	賭鞍	四ノ二〇
買誼が長沙に遷され	四ノ四九〇	影言	三ノ一七六
歌鞠學問	二ノ二〇九	掛硯	一ノ四四〇
書出し	二ノ四八五	かけどく	一ノ四七六
かきだつ	二ノ七三四	影法師	一ノ一四七
垣根草	四ノ一八二	掛矢の大槌	二ノ四〇〇
鑰の穴から天のぞく	三ノ三〇六	陽炎	一ノ四五九
牡蠣船	一ノ四〇九	駕籠ぎれ	一ノ二五一
かき餅	二ノ五七四	籠の鳥	二ノ六一九
餓鬼も人数	三ノ五六九	駕籠へも	一ノ三九五
鹿毛	二ノ二三〇	かさをかける	四ノ五一
影を踏ぬ兄親	二ノ二七五	風折烏帽子	二ノ三三一
景清	二ノ三四四	かざけ	四ノ九六
			一ノ二三三

鶴の五位の介 四ノ一五三
 鶴の渡せる橋 三ノ六二四
 風下に居るな 三ノ七五二
 笠に挿いたは柳の花 二ノ四六六
 重ね 二ノ二六〇
 重井筒 二ノ六〇一
 笠屋三勝 二ノ六〇〇
 嘉十郎 二ノ四九一
 河鹿 二ノ八五
 かしこにか 一ノ三五七
 家質 二ノ五二九
 貸しに來た 二ノ六三二
 柏がもと 一ノ一六一
 柏木の鞠 二ノ四二七

四ノ一五三
 三ノ六二四
 三ノ七五二
 二ノ四六六
 二ノ二六〇
 二ノ六〇一
 二ノ六〇〇
 二ノ四九一
 二ノ八五
 一ノ三五七
 二ノ五二九
 二ノ六三二
 一ノ一六一
 二ノ四二七

柏屋さがははすはにござる 二ノ六七六
 柏屋通れば二階から 二ノ六八〇
 鹿島の事觸 一ノ四二九
 莪蕪 三ノ七八
 霞ヶ關 一ノ二四四
 浙水 三ノ五三四
 歌書に部立 二ノ二九七
 精尾の兀僧 四ノ三五〇
 春日 二ノ二二七
 霞の袂虹の帯雲の上着 一ノ六六三
 かすらする 一ノ五六八
 風を喰ふ 二ノ二四八
 風をつかまへる 四ノ一六七
 風の神か鳥威し 一ノ六〇六

二ノ六七六
 二ノ六八〇
 一ノ四二九
 三ノ七八
 一ノ二四四
 三ノ五三四
 二ノ二九七
 四ノ三五〇
 二ノ二二七
 一ノ六六三
 一ノ五六八
 二ノ二四八
 四ノ一六七
 一ノ六〇六

風緑野に收つて 二ノ一五〇
 片いき 一ノ二四六
 かたうど 一ノ一三四
 片岡 一ノ四一〇
 かだをして 二ノ六六
 肩がいかる 三ノ二二二
 肩がつかへる 一ノ三九一
 片假名の木の空 二ノ四三二
 かたくま 一ノ七二一
 かたくま松 三ノ二六二
 片小鬘剃りこぼつ 二ノ六四一
 片敷 四ノ二三
 忝なかるわいの 一ノ三四九
 片削の千木 四ノ六六一

二ノ一五〇
 一ノ二四六
 一ノ一三四
 一ノ四一〇
 二ノ六六
 三ノ二二二
 一ノ三九一
 二ノ四三二
 一ノ七二一
 三ノ二六二
 二ノ六四一
 四ノ二三
 一ノ三四九
 四ノ六六一

かたぢ 三ノ一六八
 かたぢの長持 三ノ二四六
 片ちぐ 二ノ四四四
 片唾を呑む 二ノ七九三
 交野の御野の櫻狩 四ノ四
 肩のよい物 一ノ五七六
 肩のわるい 二ノ六四二
 かたびらが辻 二ノ一五〇
 形見こそ今はあだなれ 二ノ二七二
 形見の烏帽子狩衣 二ノ七三三
 堅むくろ 二ノ二一八
 一ノ二四六
 かだめ 二ノ八五
 騙りか狐 一ノ一八九
 片破れ月 二ノ二八八

三ノ一六八
 三ノ二四六
 二ノ四四四
 二ノ七九三
 四ノ四
 一ノ五七六
 二ノ六四二
 二ノ一五〇
 二ノ二七二
 二ノ七三三
 二ノ二一八
 二ノ四二七
 一ノ二四六
 二ノ八五
 一ノ一八九
 二ノ二八八

家中	一ノ一四四	葛城	二ノ六五五
加持の讃	四ノ七二	桂木常世	二ノ四九〇
加持の師	二ノ二〇五	かづら草	四ノ一八二
蚊帳の祝儀	二ノ四三八	かづら様	三ノ三一一
鍛冶屋の仁蔵	二ノ五六八	かづらゆひ	四ノ一〇五
桂男	二ノ八五	門詰も踏されず	一ノ二六一
鯉座橋	二ノ四九〇	門に立たは忍びのつまかる	二ノ六五四
かつがせ	一ノ四三〇	門に松たつ	四ノ一六二
被	四ノ七七七	門の盛砂	三ノ七二八
かづく	二ノ八四	門火	三ノ七六七
湧しても盗泉を飲まず	四ノ二三六	かとり衣	四ノ三九八
かつせん王が吹目の術	四ノ九一	假名書き眞書	四ノ九六
合點	一ノ二六一	鐵槌せんべい	二ノ五四九
かつほう鳥	三ノ二〇七	かなぶち	三ノ二七四

金山	一ノ六〇三	辛の巳	三ノ五二一
蟹は甲に似せて穴を掘る	四ノ二八九	狩野元信	三ノ二五五
兼合	三ノ二五九	狩野祐勢	三ノ二八〇
鉦打たゝき	二ノ二二	川御座	三ノ六四八
銀を立	一ノ三三三	皮が身か	二ノ四三三
金子吉左衛門	一ノ二二五	皮切り	一ノ二六五
金子吉左衛門の評	一ノ一六〇	川崎の大権現	三ノ一六九
銀ごと	一ノ三三一	川忠太夫	二ノ四〇四
かねつける	四ノ一四八	革柄	一ノ一八二
金に詰つて死ぬる心中	三ノ七八〇	川中には立とも人中にはたゝれず	二ノ一六三
鐘の響きの聞きおさめ寂滅爲樂と		土器あぶり	二ノ五〇九
響く也	一ノ三五四	瓦町橋	二ノ四九一
かねひと親王	四ノ八三二	替りの太鼓	三ノ一九七
かの十帖の名所	二ノ三二二		

買ふてくせ	三ノ五五	歸る山	三ノ二五五
甲山	二ノ二九二	顔振る	一ノ二六〇
鏑の遠鳴	三ノ四七三	顔まぶらせ	一ノ六七一
かぶろ松	二ノ六五二	顔見世	一ノ三七〇
かぶらん	三ノ七八七	かほよ花	一ノ三二一
合力	一ノ四三〇	かま	三ノ一八〇
禿	一ノ一五七	鎌親父	二ノ六八五
買かゝり	二ノ六四七	鎌倉切通し	二ノ三七四
かひくしき	一ノ一三四	鎌倉殿	二ノ五九
かひもちひ	二ノ三四五	鎌足の大臣	四ノ三二八
楓	一ノ六四〇	竈の霞	四ノ三三三
替名	一ノ二四六	構ひ	二ノ四三三
壁に馬乗りかける	一ノ二〇七	鎌鬚	三ノ七七
壁に馬	三ノ七二九	神上り	三ノ一七九

神下し	二ノ六二六	紙花	一ノ四三六
神かけて	一ノ一七〇	紙花七九寸	一ノ六一二
上方にはやる心中	四ノ四二〇	紙屋川	四ノ六六
紙子	一ノ一四八	神谷宿	一ノ五四九
紙子の火打膝の皿	一ノ六〇六	神より受けし身體髪膚	三ノ五六七
紙子の廣袖	四ノ三五〇	汗牛	四ノ八一
かみさぶ	一ノ六〇六	看經もする身	三ノ五四八
かみ様おる様	二ノ四九二	かんこ臭い	二ノ三七九
上する女	一ノ二五四	諫鼓苔深ふして	四ノ三
上唐人	一ノ七二九	于五上句中六下句	三ノ四五〇
神と神	三ノ一六八	関古鳥	一ノ七六三
神無月	二ノ七五七	神崎江口	二ノ二九三
雷め	三ノ一二七	寒晒	一ノ六〇八
かみは正直	二ノ七六九	かんじ搦み	二ノ七六二

元日と祝ふ	四ノ三三三	桓武天皇の御葉末	四ノ七六八
勸進帳	二ノ二二四	冠の巾子	四ノ三五
韓信は市に股をくぐり	四ノ二六四	咸陽宮の煙の中	一ノ四〇六
がむしや	三ノ一五八	咸陽宮も亡び時	一ノ二六五
威状	三ノ五四一	管箏の聲羽施の美	四ノ四
頑是なし	二ノ三八七	翰林學士	四ノ四五八
勘當	一ノ二〇〇	龜井片岡伊勢駿河	三ノ五一三
がんだう	一ノ一四〇	龜井橋	二ノ四八九
邯鄲の夢	二ノ六四七	龜菊が髮筋にも	四ノ六八四
堪忍藏の戸が開いた	四ノ一〇〇	鳴の羽	四ノ二五二
かんばせ	一ノ二三六	下間を耻ぢず	四ノ八三七
蒲原宿の約束	三ノ五一〇	龜屋の羊羹	四ノ八三一
坎日	四ノ三八九	唐居敷	四ノ七七一
がむひの筆	三ノ二七九	家老	一ノ一五二

唐土阿蘭陀	一ノ七二八	唐土の壘	一ノ三八七
からく	二ノ七二二	伽藍	二ノ六三
からくみ	三ノ六二七	唐物屋衆	三ノ一九二
韓衣	二ノ三五七	がらり	一ノ二〇六
唐子番には薩摩櫛	四ノ三五	歌流金子	一ノ二一六
から蛙	三ノ六〇六	假初のこと	一ノ二三四
から	二ノ四三三	借ませふ	一ノ二三一
空尻	三ノ七三七	迦陵嚩	一ノ二二〇
から猫	四ノ六六五	輕いお身持	三ノ七二九
から猫が男猫よぶとて	四ノ三三二	苜蓿	一ノ五八九
から猫のおき	四ノ三二一	輕口の段かいの	一ノ三三一
唐のましも千匹	二ノ五一五	かるた	四ノ三三七
から玉	三ノ四〇七	かるたのゑの付	三ノ六七五
からつゆ	二ノ二二四	骨牌結び	三ノ八〇
	二ノ五九八		

かる時の地藏菩薩	三ノ三三五	きうこう	二ノ四九七
枯木に花	一ノ二二八	舊功爲した育立	二ノ五六五
枯たる木にも咲花の	二ノ四六六	急爾所	三ノ二二三
かやき	一ノ三三四	急所	一ノ二三六
蚊屋釣竿	四ノ一八二	九泉	四ノ七七三
かやはかくるゝ	一ノ二三〇	弓馬	三ノ七二七
かやゝの雨	三ノ七七四	鳩尾	三ノ七三九
通ひ車	二ノ四二六	窮民	四ノ六
通ひ車の蜷川	一ノ四五〇	久離切る	二ノ六五八
通ふ千鳥の淡路町	二ノ六一四	消てんげり	四ノ一八
		さえん	一ノ二六六
		義を泰山より重んじ命を鷲毛より	
		輕んず	二ノ四〇二
		生男	二ノ二九四

【き】

気合に構ふ 一ノ六〇五
 急々如律令 三ノ六七七

氣を通す	一ノ二五四	きゝ咎め	二ノ二五二
祇園會	四ノ四三五	開所見所	二ノ六一八
祇園狂ひ	一ノ一八三	開に北野の時鳥	三ノ二五四
祇園三社の御神	三ノ一三	麴塵	四ノ四八二
祇園精舎の鐘の聲	三ノ三七一	菊田善右衛門	二ノ五
祇園坊	四ノ八四五	菊月	三ノ四二一
鬼界	三ノ六〇九	菊鏝	一ノ一八二
鬼界が島に住む心	三ノ三三二	ぎくともせぬ	一ノ六〇八
氣が暗うなる	二ノ七二〇	聞に心もくれはどり	一ノ三五四
氣がつきた	一ノ三四六	義經	三ノ二九二
氣が細い	四ノ三三三	機嫌	一ノ三三二
氣がめいる	二ノ六三五	喜見城	四ノ八三二
木から落た猿	二ノ七三五	ぎごつなく	一ノ四九〇
利腕	一ノ三三六	きこらいく	三ノ五八二

后達	三ノ五二六	きたいえん	四ノ八三
喜三太	三ノ三八〇	北嵯峨	二ノ一四〇
如月	一ノ五八八	北に向つて	二ノ六二四
さしつびれい	四ノ七〇	北の方	二ノ六〇
岸の姫松	四ノ五二三	北野天神	三ノ一七〇
ざしむ	二ノ六四五	北の橋詰	四ノ六二六
生醬油の袖したゝるき	一ノ三二九	北の丸	四ノ六四三
さしやく	二ノ五五三	北濱中の島	三ノ二〇五
者鵲天	三ノ三九一	北向の八幡宮	二ノ七三二
鬼宿日	二ノ二一七	北山の金閣	四ノ二三七
氣色	四ノ五一	北脇邊	一ノ四〇四
擬勢	一ノ一三四	鬼畜木石に劣る	二ノ三〇九
着長	三ノ三八七	吉書	一ノ五〇三
木曾殿の御部屋	四ノ六四〇	吉方	二ノ六三

木賃宿	一ノ一九四	木になる	三ノ四六一
木地屋	四ノ九七	絹傘	三ノ五八八
几帳	三ノ四五六	衣笠山	二ノ一四二
北むき	四ノ八一〇	きぬく	一ノ三二七
きついこと	一ノ一六六	杵で當り枚子で當る	一ノ二五七
きつう座敷が洒落れて來た	一ノ二一八	氣の毒	二ノ一二九
吉左右	一ノ三〇二	氣のとつさか	三ノ七八六
木辻	一ノ二七九	乙の酉	四ノ一七六
疵なきの玉盃	二ノ四六七	木の端	三ノ一三三
狐川	一ノ二七七	昨日の今日	三ノ一九九
木で鼻もぎどを	二ノ六一九	者婆	三ノ六七一
氣轉者	二ノ七〇〇	際の商ひ跡をつめ	一ノ三九五
さどく頭巾	三ノ二九八	者婆扁鵲	一ノ六四五
きなか	二ノ四二八	貴船	二ノ三一七

岐阜屋道順	四ノ三三二
擬寶珠	三ノ三八八
さまぶり	三ノ五三九
君	一ノ四二二
君を待夜	三ノ七一〇
君辱めらるゝ時は臣死す	四ノ四六九
君八千代國は治る	四ノ五五九
きんか頭	一ノ二〇五
金銀たんと持た村	二ノ五六二
金銀瑠璃	三ノ四六六
銀魚	二ノ一三二
金巾子の冠	四ノ四八二
銀拵へも胡散なる	二ノ六一六
翠詩酒の三つの友	三ノ六一二

金紗	一ノ三六七
謹上再拜	四ノ七一
禁色	四ノ八九
謹請東方しやうりうしやうく	四ノ一六五
金鏡銀鏡	二ノ二〇五
禁中繪所	三ノ二八四
金の冠を着ぬばかりしやくは持病	四ノ八四一
銀筥の矢、蒔繪の弓	二ノ二六〇
禁野	四ノ四
貴面ならねば	二ノ七四八
肝煮	二ノ五五二
肝情	二ノ六八四
肝と肝とに應へ	三ノ一一九
	一ノ三四九

鬼門金神	三ノ六五二
きらす	四ノ四三五
きりかい	三ノ二七二
きりく	二ノ六二六
切子燈籠	四ノ六二五
霧波千壽	一ノ二二五
錐はとほす	四ノ九八
錐は袋	四ノ四一三
切米	三ノ八六
切麥	三ノ一〇二
切戸の沖	二ノ二三九
切戸の文珠	四ノ三八一
ざろつく	三ノ一四
記録所	二ノ二三一

經帷子	二ノ六五四
興がる	一ノ四四〇
行儀づよい	一ノ二二九
狂言師	二ノ三〇四
京獨樂	二ノ二九一
興覺め顔	一ノ三三六
香車	三ノ三六四
行者講	三ノ六六四
行者様	三ノ六六五
強將の下に弱卒なし	二ノ四一八
京雀	四ノ一一〇
兄弟見參	三ノ五二三
經堂	一ノ三二七
きやうと	三ノ七八

ぎやうな
 ぎやうに滑る
 興にする
 京の水
 京の吉岡紙子染
 驚風
 刑部省
 京橋
 孝養
 経讀鳥
 掲諦々々
 逆心
 逆臣
 木遣り

三ノ三三七
 一ノ四八一
 二ノ三三六
 四ノ八四二
 一ノ三六七
 二ノ二〇五
 二ノ二四三
 二ノ七九九
 四ノ六二〇
 四ノ六八
 一ノ三三七
 三ノ六六三
 一ノ一三五
 三ノ五三〇
 一ノ六〇二

伽羅
 伽羅細工
 伽羅女
 裾
 器用
 去々年つちのへ亥
 曲がない
 玉京、崑閩、貌姑射の山
 曲事
 曲もない
 清瀧鳴流
 ぎよつと
 祇王祇女佛御前

三ノ四五七
 三ノ五二六
 一ノ二八七
 一ノ五五六
 二ノ二〇七
 四ノ一四六
 三ノ六四三
 一ノ二六一
 二ノ二八四
 一ノ二五三
 一ノ一六二
 二ノ三二一
 一ノ四〇四
 一ノ一七二

く

口合
 くゑ日
 苦海
 釘こたへ
 九軒
 苦患
 九間
 九献
 くさしやつたか
 腐り合
 くさる
 くされ

一ノ二五二
 四ノ三九〇
 二ノ六七四
 三ノ六七〇
 一ノ二四四
 一ノ三五九
 一ノ四三八
 四ノ三三〇
 一ノ一六三
 一ノ三三三
 一ノ五〇〇
 一ノ一六七

虞氏が顔西施がなさけ
 柿筒
 九字護身法
 くしたか
 公事のみや
 公事のみや
 九十三騎
 俱生神
 鯨船
 薬の灸は身にあつく
 苦笑
 弘誓の船拍子
 曲事
 救世正覺の如來

二ノ一七七
 三ノ六八五
 一ノ五六〇
 一ノ一六三
 一ノ二五二
 三ノ二三〇
 二ノ三三九
 二ノ七二八
 三ノ五五一
 三ノ一七七
 一ノ一九九
 一ノ三二四
 一ノ四七一
 三ノ四六九

口舌	二ノ四四二	口どまくれ	三ノ七五八
救世の大慈の化身	三ノ六四四	口に甘き食物は腹中に入れて害をなす	三ノ五三六
曲舞ひ	二ノ二九六	口ばしの黄な小雀	三ノ二六五
曲者	一ノ二四六	口まつ	二ノ二一五
くだかけ	一ノ二七六	口寄せ	三ノ一七四
管まく	一ノ四五六	葛醬油	三ノ七三七
くだんせ	一ノ三三九	屈竟	二ノ五九
如件	一ノ二四二	ぐつと通して一るぐり	四ノ二三一
くだりや	一ノ三二六	杏はきの如來	一ノ二二三
くちあひ	一ノ七六二	くつわ	一ノ一六一
口惜しや古へは	四ノ四五	國を療治	三ノ四九〇
口き	二ノ六六〇	國島	一ノ四三九
口切の夜會	二ノ三九七	國常立尊	四ノ七二
口てんがう	一ノ四七四		

國の憲法	四ノ七六一	群臣諸侯	三ノ五一九
恐人夏の蟲	二ノ八〇	郡内	二ノ七八二
九年以前の正月六日	二ノ一五八	軍法のおんくはう	三ノ五五六
くねる	二ノ五三九	ぐんり	三ノ四七八
九之助橋	二ノ六九七	くめの岩はし	三ノ六二四
熊谷笠	三ノ一〇	工面	一ノ一八八
熊坂長範	二ノ四七三	ぐめん	三ノ一〇〇
熊鷹熊手	三ノ四二二	雲井の月も山樵の	四ノ七九三
熊手	三ノ一八三	雲心なき水の面	一ノ三五四
熊野権現に祈誓	一ノ二五六	雲助	三ノ一八〇
熊野午王の村鳥	三ノ三九五	雲津の川瀬	一ノ五三〇
熊野の浦	二ノ七七六	蜘蛛格子	二ノ九三
九萬九千の鱗	二ノ三三一	蜘蛛手かくなは十文字	二ノ六一九
君子國	二ノ二一九	くもにしる	一ノ五二三
	四ノ八一		

雲の脚	一ノ三三七	悔の八千度	三ノ五五六
蜘蛛のい	二ノ二八七	狗寶	一ノ五六一
雲の空靴	四ノ一三三	くべる	二ノ六五九
雲の羽衣	三ノ四〇二	九品の淨刹	一ノ六五二
雲間に素足	一ノ三三六	位を問ふ	三ノ七〇七
雲無心	一ノ六六三	くらがりの牛	三ノ三八〇
公文所	三ノ六二四	暗き帝	三ノ五四六
姥が餅	一ノ二七一	くらはし山	四ノ一四
桑名の舟	一ノ四七八	くらびらき	四ノ三八八
桑の弓蓬の矢	二ノ八四	鞍馬の山の雲珠櫻	二ノ三二〇
桑山	二ノ二〇四	鞍馬は大慈多聞天	三ノ四〇六
首切	二ノ七八八	鞍馬山の童	三ノ三九八
躰を廻す	二ノ六四一	藏人	四ノ五
春盤	二ノ六〇	くら屋	一ノ四三三 二ノ五四七

藏屋敷	一ノ一九一	黒格子のつじ	三ノ一七三
倶梨伽羅落し	三ノ六一八	黒鐵の帳	三ノ二〇八
ぐりはま	四ノ七二七	黒草威	三ノ三八七
漚妻僧法	四ノ八六	黒髪が目出たからんこそ女はめや	四ノ五七五
車戸	一ノ三五二	すかるべし	四ノ五二五
車長持	三ノ二七九	黒木の御所	四ノ三八八
樞	三ノ一九五	くろ日	四ノ三〇一
廊	一ノ二三〇	くろめる	一ノ五〇一
廊三界	二ノ六四三	悔み草	四ノ一八二
曲輪住居は	一ノ二四三	懷中で鏡よむ産所の夜伽	二ノ七五五
曲輪やう	三ノ一六八	會稽の耻を雪ぎ	三ノ一六一
廊四筋	三ノ七〇六	廻船	一ノ七二八
吳竹	一ノ四二一	懷胎十月の十相	四ノ七二
吳服の宮	三ノ五四	回祿	三ノ三七四

黄卷朱軸	四ノ八三	花車が驚く	一ノ七一三
荒神	一ノ四四三	花族の公達	二ノ二〇五
皇太后	四ノ二〇五	花族の三公	三ノ三七三
光満寺	一ノ二〇四	華陀	三ノ一六三
光明寺	二ノ四二二	火宅	三ノ一四七
光明遍照十方世界念佛衆生攝取		月蓋長者	四ノ八四三
不捨	三ノ七九二	くわつとおはづみ	一ノ一五八
光琳風	四ノ八四〇	くわでんのはゞき	二ノ四〇一
くわをぬかす	二ノ七三五	願以此功德	三ノ七一四
花岳芳春	二ノ一五九	観音堂	一ノ四九九
花原磬	四ノ四五三	還御	二ノ三一九
過去	一ノ一七二	関々たる雕鳩	二ノ二二一
花山法皇	三ノ三四七	管絃	二ノ二二三
花車	四ノ七六六	貫絃	一ノ一五八
	一ノ四三七		

勸進	二ノ六五七	けいあん	二ノ三三〇
管相丞	二ノ七九七	傾國	二ノ一七七
顔色紅葉として	二ノ三三二	卿相雲客四十三人流罪	三ノ三七三
くわんす	三ノ一四	傾城	一ノ二二九
観すれば夢の世や	二ノ四六三	傾城買の水上	一ノ二二二
観世音	二ノ三二九	傾城づかを握つた	一ノ一五一
管仲が九たび諸侯の會	三ノ五二二	傾城こまめにたらいが女房	一ノ七一三
観念	一ノ四〇一	傾城に誠なし	二ノ一六〇
願人	二ノ二九八	傾城佛の原	二ノ六三五
關白冬嗣	四ノ七六八	けいせん	一ノ二二三
勸進柄杓	二ノ二二〇	けいせん花	一ノ六三二
寛文年	二ノ四六四	けいはく慶庵	二ノ六七六
桓武天皇無體の後胤	三ノ七五		四ノ二四五
紅蓮	一ノ六七七		
	四ノ三八八		

輕薄追縱	三ノ二二九	けさく	四ノ八七
警諱	四ノ四	袈裟まで憎い世の譬へ	三ノ一〇
けいぼう	四ノ七七〇	けしう	三ノ一三一
經絡六脈	一ノ四六四	けしからし	四ノ二二〇
稀有	四ノ一〇	下司の智慧は跡から	三ノ三二四
けうこつ	二ノ二二七	けし程もない	三ノ七八六
仰山	一ノ二四七	化身	二ノ七三五
堯舜	二ノ二六一	下心の悪い	三ノ二三八
毛を吹いて疵を求る	二ノ三七八	けしやう	三ノ八九
けが	三ノ四四一	解狀	一ノ三六八
下向	二ノ五七四	化城喻品	二ノ三九一
夏書	二ノ七九九	外成腹	四ノ六三
けく	一ノ二七三	下宿	三ノ三二二
華嚴阿含方等船若大乘涅槃沙羅林			一ノ五一六

下手人	一ノ三〇一	月窓寺	一ノ二二三
外道月毛婆羅門栗毛	四ノ六九四	けでん	一ノ二八五
外道の元祖提婆達多は如來の三十		げな	一ノ三四五
二相を學び	四ノ八五	けな者	一ノ四八一
けたままし	一ノ六八三	實にや安樂世界より	一ノ三二〇
解脱	二ノ一九七	下の下	一ノ四九六
血脈	四ノ一三三	けはしい	四ノ三五〇
結界清淨のお山	一ノ五六一	檢非違使	一ノ七八三
結構者	一ノ三六八	氣比の浦	三ノ二五五
けつかれ	一ノ四二八	けふの佛	二ノ一五七
血氣者	二ノ五八三	けふはな焼きそ武藏坊	四ノ二七七
結句物に尾緒がつく	四ノ三三三	下品上品	三ノ二五〇
闕官	二ノ二六一	毛彫	三ノ三〇二
月卿雲客	四ノ四	華蔓	二ノ二八五

拳	二ノ六三三	けんどん	一ノ一九五
建久四年五月廿八日	四ノ六三六	げんなり	一ノ五〇一
元慶寺の座主遍昭	二ノ二〇五	けんによ	一ノ三三八
けんく	三ノ六五八	けんねじ	一ノ四九八
げんこ取	一ノ五一四	街賣女色	四ノ一六三
源五兵衛何處へ往きやる	三ノ一四三	立番になつて詰開	一ノ二四三
乾坤	四ノ六一	痲癩	二ノ一〇四
乾山	二ノ六八六	けんぼう	四ノ三五七
源三位	二ノ三四三	けんほが梨	二ノ二八三
源氏の君	三ノ四九〇	けんほくぼ	四ノ八二六
源氏も東國	三ノ五一三	堅牢地神	三ノ二四四
玄上の琵琶	四ノ三六	外面似菩薩内心如夜叉	四ノ一四
遣唐使	四ノ四五二	けもない	一ノ六〇四
けんたんの法	四ノ九〇	けりやう	三ノ一〇三

【三】

ごあんしよ	三ノ三〇五	小歌が鳴る	一ノ四七一
ごあらぬ	二ノ六四三	後宇多天皇	二ノ三一八
小石流れて行く音か	二ノ八五	こうとう	三ノ六四六
こいと呼ばずと行かすにおこか	四ノ八〇九	ごうの秤	四ノ三四一
御影向	二ノ三三四	こうにもたゝぬ	三ノ三四八
御恩徳のお影	一ノ四三九	こうや	三ノ二三九
鯨鮓	二ノ二一〇	勾欄	一ノ三二九
後宮	二ノ二〇三	こうりやうへる	三ノ一四
弘徽殿	四ノ七六七	五戒	三ノ二八
後見	四ノ一一〇	五更	三ノ三九四
功犬	四ノ六三五	黄金ざね	四ノ二二三
孔子は魯國の狩に麒麟を得	四ノ六八八	子飼	四ノ一三八
		御器	一ノ三九二
		鼓弓	一ノ二五二
			三ノ三一九

五器提る瑞相	一ノ六六七	吳郡の綾の元渡り	三ノ四〇九
五器の實のぶちあげ	一ノ五〇七	黒餅	三ノ八五
古今集十戒の和歌	二ノ三三七	獄門	一ノ二六八
古金襴	四ノ八四三	極樂	四ノ八五
故卿の風の北に嘶ふ	四ノ一八一	小倉口	一ノ七三三
五經の博士	四ノ八二	極樂諸天	三ノ三五〇
こきやかう	四ノ三二〇	極樂の西風	二ノ五三一
五逆の提婆は天王如來	一ノ四二一	碁筭	二ノ三九三
五逆の達多八歳の龍女	四ノ七五	五刑の罪	三ノ五三一
國遠	二ノ七	後家鞆	一ノ一八三
黒印	三ノ七九	こけて	一ノ一五二
國性爺の道行	二ノ七五〇	御げん	一ノ五六一
ごくどう	一ノ二〇七	柿ぶき	一ノ二九五
ごくに立ぬ	二ノ五六三 三ノ三四〇	心得太郎兵衛	四ノ三四六 一ノ三九五

心をおくの千手	二ノ三三三	心も夏も	一ノ三五六
心を落し付け	二ノ六四五	心も亂れくるめき	二ノ八八
心を種として和歌に和ぐ日の本	四ノ七六六	こゝは竹田か夜は何時ぞ	一ノ四〇九
心々の分の道	一ノ三四一	五々八八知死期	三ノ七八三
心頼み	四ノ五六五	こゝの耻は耻ならず	二ノ六四五
心たまざりや	一ノ七二九	九重	二ノ二一一
志	三ノ一二七	御在國	三ノ七二七
心に一物	一ノ四九八	五歳の時	三ノ七三一
心の駒	四ノ三八	五臓六腑	一ノ二六〇
心の倭人	四ノ二五三	ござく	二ノ四八六
心の花も冬籠る	二ノ一五五	御參會	二ノ六三七
心一つに孕み句の	一ノ三八七	吳三桂	三ノ五二〇
心も空も影暗く	一ノ三五六	ござんす詞	四ノ二一八
心元なかべい	一ノ七二九	ござんせ盛様	四ノ七九〇

ござんなれ	二ノ六〇	五階	一ノ五九一
ござめり	四ノ五三	五常五倫	三ノ五二二
腰おし	一ノ二七一	小姓立	一ノ六二二
五十三次	一ノ四七七	五尺いよこの手拭	一ノ二七五
五十三次に汁かけて嚙こなす	一ノ五〇五	御所のひんぬき	四ノ七七七
五十年の妙經	四ノ八三	後白河法皇	三ノ四一〇
伍子胥が餘風	三ノ五二五	後白河の法皇を鳥羽の北殿に押籠	
牛漆	四ノ二七一	む	三ノ三七三
腰なは日本一の大井川	一ノ四七九	五衰	四ノ三八八
腰の物	一ノ二四一	五衰三熱	二ノ三二一
五十餘りの代々の君	二ノ二〇三	梢も青き夏木立	三ノ一七二
小じほらし	三ノ四一〇	吳洲平	四ノ六六七
御人體	一ノ四三八	御すもじ	三ノ四〇一
五塵六欲	二ノ二八九	ごせ街道	二ノ六六七

五攝家	四ノ三三三	午頭天王	三ノ一七一
ごせ殿	二ノ四九三	こつてり	一ノ二四八
後世の道には遠山が	三ノ三五一	忽然之間變成男子	三ノ五二二
御膳目八分	三ノ七三七	骨佛	三ノ三三八
小袖の絹帛	二ノ五八二	牛頭馬頭	二ノ一六四
こぞり寄る	一ノ一五一	小詰役者	二ノ七六六
五大力	二ノ一五六	五調子	二ノ一二四
巨燧の段	一ノ二八八	五條橋	三ノ三七七
こち	一ノ四五二	小手毬	二ノ六七六
後住の約束	三ノ八八	五天竺	四ノ八三
此方の揚げ	二ノ五七五	ごと	三ノ二七一
小ぢよく	三ノ四二二	琴にはならず	二ノ二一四
ごつい	二ノ六七八	言がない	三ノ一六
こづか	一ノ五〇七	詞の品	四ノ九三

こなさあ	三ノ二五九	此鼻	一ノ四三二
こなさん	一ノ二二八	このもかのも	一ノ五三〇
五人組	一ノ二一五	此世が彼の世にかへつても	一ノ三三三
粉糖三合有るならば入聲すな	三ノ二七七	此の世の羈絆	二ノ四七二
來ぬ人を	三ノ二〇五	此世ばかりの約束か	一ノ三三四
近衛の武官	二ノ二七三	此王	一ノ六九一
此家を去る	三ノ七八五	牛蒡様	一ノ二八四
此の鐘の濫觴	四ノ一四〇	木幡山	三ノ四五九
此の曆盡し	四ノ三八八	木幡の里	四ノ二九五
此薩睡	三ノ六四四	小判が入る	一ノ二七九
此里の心中沙汰	二ノ七五〇	小林が舞扇	一ノ二二二
木の下蔭に落葉掻く	四ノ五七二	小春とは此十月	二ノ七四八
鯨魚といふ魚を以て火葬を欺き	三ノ九七七	戀いさかひ犬が喰ふ	二ノ七二
此の戸一重が關守	二ノ五三二	御ひけい	三ノ三六二

御秘藏様	四ノ一五一	腓	一ノ五〇七
戀せずば人は心のなかるべし	二ノ一九一	枯木責	二ノ八九
戀塚	三ノ四〇九	氷の地獄	二ノ一六三
戀といふ其の水	三ノ一六八	氷は水より出て水よりも寒し	二ノ一六八
戀情こゝを瀬にせむ	二ノ七八九	郡山	二ノ二九三
戀に朽果ん名こそ惜しけれ	四ノ二七	こぼれ口	二ノ六五二
戀の大海	二ノ七四六	獨樂	三ノ一八〇
戀のないにも	二ノ七四六	護摩	二ノ二九五
戀の晝中	二ノ二四五	細銀	二ノ一一一
戀の文	二ノ一七七	狛左京盛光	二ノ一一三
戀は曲者	二ノ五四五	小松殿	三ノ三七三
御廟野	四ノ三七	椀	二ノ六五
こぶのかは	四ノ三二四	駒曳錢	三ノ三六六
御分	二ノ七五	小まん	一ノ四九二

小まん泣々申すやう	一ノ五二九	金胎兩部	一ノ五六二
小耳	一ノ四四八	金堂	一ノ三二七
紺かき下部	三ノ四三一	譽田八幡	二ノ六五五
金剛山	二ノ一七二	混沌未分	四ノ七二
金剛杖	三ノ六六三	紺のだいなし	三ノ七七八
金剛不壞の左右の小手	四ノ四八一	紺に鬱金に	三ノ七四四
金剛力士	四ノ六六	今日は五日宵庚申	一ノ六六四
昆吾溪の寶劍	二ノ三〇三	蕪荷の錢	三ノ七六九
言語道斷	一ノ一四一	魂魄	一ノ五一二
金色世界	四ノ一五八	魂魄に氣を奪はる	一ノ二六二
金色の身あがり	一ノ七二八	紺屋糊	三ノ二三四
ごんした	一ノ四二一	金輪際	一ノ三七四
金神	一ノ二〇八	米を盆に載せ	三ノ一三一
こんだ	四ノ三五七	米取る能太夫	一ノ一六二
	一ノ六七六		四ノ八四二

御免なりませ	三ノ一二七	こりやむ	一ノ七三一
御めんよう	三ノ一一二	是を戦のはじめとして	一ノ四九九
米屋町	三ノ二〇四	これを見るたびに彌増しの思ひ草	
小女郎	一ノ二〇六	是氏神	四ノ八五九
菰かつがせる	一ノ五〇七	是せふ計り	二ノ六二七
鴉被りの下地	一ノ二〇八	是ぞ一蓮托生	三ノ一五
こもぞう	一ノ一六二	是に懲りよどうさい坊	二ノ六五二
御物上り	四ノ二六九	是の見えるたへ御免ならふ	二ノ四四二
隠口	二ノ二一四	是やこなたへ御免ならふ	三ノ六四五
垢離	四ノ三六九	これや此	四ノ一七四
五輪	三ノ三三九	小六月	四ノ四六
五輪五行	三ノ三五二	轉でも土を掴む	三ノ五四六
五輪とみやがものごし	三ノ三四三	ころり	一ノ七四八
五倫の親	三ノ二四八		一ノ七七七

後夜	三ノ二四四	齋宮	一ノ五三〇
後夜の鐘	四ノ三七一	さいさき	一ノ四八〇
小結の烏帽子	三ノ四〇二	妻子珍寶及王位	四ノ六三
牛王の裏	二ノ八〇三	在所	二ノ六五六
牛王の咎	三ノ三四三	西所が原	三ノ三三一
[水]		咲た櫻に何故駒つなく	四ノ二九五
崔嵬	三ノ六一二	西塔の武藏坊	三ノ三七四
西海四海	三ノ五一四	さいたづま	四ノ三七
最後	一ノ一五四	西天の獅子王	三ノ五六六
西國一の大湊	一ノ七二七	齋藤別當實盛	三ノ七三四
西國三十三所	一ノ三三三	臺所荷は次傳馬	一ノ四七〇
西國四國の戦	二ノ五八	才能は煩惱の増長	二ノ三二七
西國橋	二ノ七〇八	西方極樂淨るり	一ノ二三七
		祭文	二ノ四九三

宰領	一ノ四七二	小男鹿の入野も山も僻々に	四ノ六八四
蒼顔	二ノ一七六	さおとゝしの参宮	一ノ五二八
雑作	三ノ一一四	坂落し	三ノ六一八
相續	二ノ四五二	嵯峨お室	二ノ三三一
さうだうのぐがくばう	二ノ三四五	逆髪 of 姫君	四ノ六〇
さうなく	四ノ三〇	高き屋に	一ノ三二〇
相場がわるい	一ノ三四九	坂田藤十部	一ノ二二三
宗廟	三ノ五三二	坂田藤十郎が夕霧	一ノ二八八
想夫戀	三ノ四五〇	逆ねだれ	一ノ三四〇
草木の雨露のめぐみに長する如く	三ノ五六四	坂の上田村堂	二ノ三三四
草履仲間	三ノ一〇四	逆罰	二ノ七一四
葬禮の儀式	三ノ二三三	坂はてるく鈴鹿はくもるあひの	一ノ四九〇
左衛門督清行	四ノ一二	土山雨が降る	三ノ二六五
		酒林	三ノ二六五

堺筋
相摸入殿
坂本の山王
酒屋のかみ
相良布
下り松
先興後興
先狀
先立ち失せし心中
先の世
座興
櫻山庄左衛門
作の佛に利生がない
作文和歌管絃

二ノ六〇〇
三ノ五四九
四ノ五四
一ノ一八三
二ノ八五
四ノ六五
三ノ七六二
二ノ六二九
三ノ二〇三
一ノ一二二
一ノ一九九
二ノ四九〇
二ノ三二五
二ノ三一八

櫻木に
櫻橋
酒漬に水もつくかや
酒に浸し
酒の酔本性忘れず
雑喉場の人
酒盛て尻切らるゝ
酒盛つて尻ふまれた
雑魚場
ささ
さざいから
小竹筒
さゝがに
佐々木源三

二ノ七九六
二ノ五七三
一ノ三六八
三ノ三〇八
一ノ二五七
一ノ二四九
一ノ一四〇
二ノ五〇五
二ノ四九〇
一ノ三九五
四ノ三三六
三ノ四七五
三ノ二〇二
三ノ七三五

笹の權三
さゝへ口
さゝへ言
さゝんざ
さざんざ調ぶる
さゝめく
さゝめこと
さゝら
讚良
さゝれ
座敷も心有明の
さしぢ
さしぬき
さしも草

四ノ五五九
三ノ一七六
二ノ三五二
三ノ二二〇
三ノ四七〇
二ノ五七四
二ノ六三二
一ノ六四七
三ノ六四五
二ノ一七二
一ノ一四七
二ノ二〇四
二ノ二六〇
二ノ三二八
二ノ五二四

茶道
定めなき世に
貞義
薩夫
五月雨ほど
五月雨ほど戀慕はれて
五月棚
阜月間
薩摩二才
扱も其後
扱も見事なおつゝら馬や
扱も行平三年が程
里
砂頭に印をきざむ鷗

三ノ七二八
三ノ三二一
三ノ三七七
三ノ一三八
一ノ五八九
三ノ七四八
二ノ六七七
二ノ五九九
四ノ一〇〇
二ノ五七
四ノ四一八
四ノ三九八
二ノ六一三
三ノ五四六

佐渡が島	四ノ二一〇	さま	二ノ五四九
佐渡島傳八	一ノ二四九	さまの大明神	三ノ一七〇
里雀	二ノ六一九	玉箒き	一ノ三五八
里は都の未申	三ノ三〇一	先へ心の關寺	一ノ七七六
さなか	二ノ六九七	三味線の渡り初にし	三ノ一四五
水馴棹	三ノ一四六	盞	三ノ四七三
實盛じや	三ノ八六	三因佛性	四ノ一三八
札よき鍍	三ノ五三〇	三衣	三ノ一四〇
作法に致さん	一ノ一六一	三界の家	三ノ三七四
さなへ	一ノ七二九	三界の教主大覺世尊	二ノ八〇一
早苗月、阜月	三ノ一六九	三界の首柳	三ノ三九三
澤村長十郎	一ノ二一六	三界は假の宿	二ノ三五六
さへ人	二ノ七〇四	三九	二ノ一四三
佐保姫	四ノ二四四	三皇五帝	三ノ七九三
			三ノ五二一

三光天	四ノ三六九	三十郎の初り	二ノ五七五
三貫目や五十兩	一ノ三七二	散人	四ノ六一三
懺悔	四ノ三四一	山上講	三ノ六六三
三國一	三ノ七九四	山上様	二ノ六九三
三國境の板橋	一ノ二七二	さん上ばつからふんごつのつころ	二ノ七四六
三國無双の靈場	二ノ六四	三所権現	三ノ三四八
さんざ如才はござらぬえ	四ノ七八〇	山水男	三ノ四一四
さんざめかす	三ノ四六四	三世相	三ノ二九二
三十五日	三ノ二二一	三世十方	二ノ七一四
三十五年	一ノ六五五	三世の恩	四ノ四五五
三十三身	二ノ三三二	三世の諸佛	三ノ五七一
三十三天	二ノ四七五	三千年の色	一ノ三八三
三十三度	二ノ三三一	三千の寵愛唯一心	二ノ二六一
三十三番	三ノ一八九		四ノ七六七

三千の容色	三ノ五一九	三年父の道を改めず	四ノ八四
三千坊	三ノ三七六	さむもつかず	三ノ七八〇
三尊の來迎	一ノ六五四	山門	二ノ六四
三田	二ノ四九六	三番太鼓	一ノ二四五
三塔	三ノ三八八	三番叟	一ノ二四七
棧俵	二ノ二六二	三百戒五百戒	三ノ七七三
讃歎	二ノ六五九	三百目	三ノ四一三
三途の川	一ノ三三四	三夫人九嬪二十一人の世婦八十一	三ノ五一九
三途八難の惡趣	三ノ三五〇	人の女御	三ノ二七三
三條吉次信高	三ノ四二一	三平二面	二ノ五九四
三條小橋	一ノ一八二	三寶	四ノ五九六
三度	二ノ六一四	三方にお鏡の餅	一ノ一四八
三度笠	二ノ六一四	三里の灸	二ノ六四八
三人よればくがい	二ノ六四二	山路が笛	二ノ四二七

さんろの道行	一ノ四三三	さらば	二ノ七二四
山王権現	二ノ二〇四	去り状	一ノ一三三
さもさふづ	四ノ二二	去りながら人に心を盡させ	三ノ七二九
左文字	三ノ三二七	猿澤池	二ノ一三〇
さもしいこと	一ノ二〇九	猿の腰掛	一ノ一四七
さや	一ノ五三四	猿の末廣	二ノ三三三
さやか	三ノ四〇九	猿の渡り綱	四ノ四九
さやけき	二ノ二九七	猿曳	二ノ一一一
紗綾の帯	二ノ七八三	去程に鎌倉殿	二ノ三〇五
さよごろも	三ノ一七六	去程に	三ノ二九二
さよ千鳥	一ノ三五六	猿丸太夫	四ノ一五七
さらさ禿	二ノ六三一		二ノ三三三
更科や	三ノ二二四	四惡種	二ノ四七四
晒の宇治の里	四ノ二五九	仕合馬	二ノ六二九

仕合よしで今はお江戸の刀さし	一ノ五四〇	十善天子	三ノ四一〇
思案橋	二ノ四九〇	十念	三ノ八九
しいく	四ノ四〇〇	十二から	三ノ一四
四章陀	四ノ八二	十二子の階梯	二ノ八八
しるふん	二ノ一三八	十二の菊綴	三ノ四〇五
慈意妙大雲樹甘露法雨	四ノ七三〇	十二の頭陀	三ノ四一一
十悪五逆	二ノ四七四	周の武王は涓涓の獵に大公望	四ノ六八七
十悪人	二ノ七九四	十方ぐれ	四ノ三八七
獸君	三ノ二七八	十八疋豆	四ノ五六三
十五貫目二十貫目	二ノ六三八	十八軒の飛脚宿から辨へます	二ノ六一五
じうさう	一ノ四三八	十萬億土	三ノ二三三
十四五端	一ノ七二八	充滿吾願如清涼池	二ノ四七四
十七八が	二ノ六五四	衆目の視るところ與兵衛に指す	三ノ七〇七
十四の灸に水が湧	二ノ五二四	十文紙に包み	一ノ一五九

十文もり	一ノ五二二	敷島	二ノ二〇八
十夜	二ノ七五六	仕着	一ノ四三七
十夜の人通り	二ノ七六九	色代	二ノ六五
柔よく剛を制す	二ノ三九八	色道の虚名	四ノ一一〇
聚歛	四ノ二三七	四季の段	二ノ三一九
鹿を追ふ獵師山を見ず	二ノ五六七	鳴の羽搔百羽搔	三ノ五一八
鹿の巻筆	一ノ二八三	鳴蛤の争ひ	三ノ五四九
しかつし所に	二ノ一一〇	敷松葉	四ノ五七二
仕方で講釋	四ノ三四九	櫛の葉の水	三ノ二三五
飾磨	四ノ五二五	四救八救	三ノ二五
信樂城山	三ノ二七八	四九	一ノ四九五
然らば目出度	二ノ三〇九	しくさつ	四ノ一六九
敷居高	二ノ六一九	四弘誓願	四ノ七一六
敷金	二ノ六一四	慈救の偈	四ノ六九六

止観の窓	二ノ三五八	獅々が城	三ノ五六五
しけ絲	二ノ七三八	猪喰屋橋	二ノ四九一
重忠	二ノ八二	獅子身中の蟲	二ノ九九
重山	一ノ六六七	獅子の勢ひ龍のせい	二ノ六〇
紫金	四ノ一四一	獅子の狛	二ノ六四
しこの木	二ノ九三	四十五人	二ノ三八七
しこり博奕	一ノ五〇三	蛭川	一ノ三三三
仔細あつて	二ノ三三	蛭川の嵐の芝居	二ノ六七九
仔細らしい	一ノ二三六	蛭川の御所	一ノ四三二
四相	二ノ五九	蛭橋	二ノ七九七
思宗	三ノ五一九	紫震殿	四ノ六
四十二の二つ子	一ノ四四七	自身番	一ノ三九七
四十八串彌陀の誓願	三ノ四〇〇	四生	四ノ七四
四十八枚彌陀の願	一ノ六一六	四書五經	四ノ四二六

四所明神	四ノ五二五	舌鼓	一ノ四七〇
鹿論	四ノ六三八	舌鼓たんく	四ノ四〇五
死せる仲達生ける仲達をはしら	四ノ二四一	下に郡内黒羽二重縹の羽織	二ノ七八三
す	三ノ七八	しだら	一ノ四四八
じたい	二ノ二二二	しだりを	一ノ二七六
四大海	一ノ四七〇	榻	二ノ三一九
時代の金襴	三ノ三五二	紫竹寒竹	四ノ二二一
四大の四苦	一ノ五五五	七五三五々三	三ノ七三二
祠堂銀	二ノ二二一	七十有餘の老女	四ノ五七
下がい	三ノ三一五	七足去て師匠を拜す	三ノ二八〇
下からどうも	二ノ四三〇	七珍萬寶	三ノ五二一
したゝゐるま	三ノ四八九	七人の子はなすとも女に心許すな	四ノ一一八
認	一ノ一八八	七百貫目	一ノ六〇八
下地は好きに			

七寶 二ノ二八四
 七寶莊嚴 四ノ五八三
 七本松 三ノ三三一
 七枚起請空誓文 一ノ二二一
 紙帳 二ノ四三八
 賤 一ノ二五〇
 十界 四ノ四五五
 静御前 二ノ三四二
 しづく 一ノ二七〇
 執權 二ノ九六五
 しづ心 三ノ七四〇
 實相中道 四ノ八〇
 實相無漏 二ノ二八九
 一心則十界に遍滿し 四ノ八四

十徳 四ノ三三三
 嫉妬深きは三女の一 二ノ二九九
 十方 二ノ七一九
 十方世界 三ノ九〇
 静原山 二ノ三二〇
 しつぼり 一ノ一五三
 師弟連節 一ノ四二四
 四條鳥丸 四ノ三二二
 死出の田長 二ノ五〇七
 死出の山 一ノ三三四
 四天王 二ノ六四
 しどなさ 三ノ七六五
 志度の浦 四ノ四七五
 蔀 三ノ二〇〇

四とん八べん 四ノ六四
 しどもなや 一ノ四三四
 しどろもどろ 四ノ一七九
 品 一ノ四五〇
 死なすかひ 一ノ三四七
 死なねばならぬしな 一ノ三四九
 死神 二ノ五八二
 しにせ 二ノ四九一
 死そこない 一ノ一四四
 死出立 一ノ三五一
 死に行くもの知らいで人の 二ノ五三五
 死場尋ねて露にしみつく帷子 二ノ五三五
 死人に妄語 三ノ二二七
 自然居士 四ノ八六四

師の御坊 三ノ三八二
 しの字を嫌ふ 三ノ二〇三
 信田森 二ノ五七五
 篠塚 一ノ四一〇
 篠塚二郎左 二ノ四九〇
 忍び返し 四ノ一六四
 柴崎林左衛門 一ノ一二四
 師走 一ノ三六八
 師走時 二ノ六五七
 師走坊主師走浪人 二ノ五三五
 しはぶき 一ノ六〇七
 斯波義將 一ノ四五七
 縛り首 四ノ二二二
 慈悲第一 三ノ九〇
 慈悲第一 二ノ七九

四濱石	四ノ四五二	鹽手	四ノ六七五
雙る	三ノ五三二	沙踏み	三ノ一九三
しぶき	三ノ七三三	湖滿珠湖千珠	二ノ二八五
時服	三ノ三六〇	鹽焼衣	四ノ三九八
持佛	三ノ二一〇	四魔	三ノ三九九
十二因縁	二ノ一七六	四枚肩	一ノ六四五
寸念	三ノ七七六	四魔三際	四ノ二一九
十文字に駈來り	二ノ二三二	島繻	三ノ六四七
澁谷金丸	二ノ三四二	島臺	三ノ二六三
鹽釜の浦	一ノ三三三	島八様	二ノ六四五
汐汲車わづかなる	二ノ二七六	島原	一ノ二七〇
鹽尻	一ノ五一	紫磨黄金	二ノ二八五
鹽田	二ノ四〇一	死脈が打つ	二ノ四〇二
鹽の長次郎	一ノ三七七	仁ある君も用なき臣は養ふこと能	

はず	三ノ五七三	新宮	三ノ三四七
噴毒の毒蛇	一ノ二二二	しん粉	一ノ二〇三
新色里	一ノ三四四	眞言	一ノ五六一
新勒	二ノ四九〇	眞言陀羅尼	一ノ五七〇
宸翰	三ノ五三三	新御靈	一ノ三二八
心肝腎の命門	三ノ四八六	しんしが鶴	二ノ二八三
じんき	一ノ四四八	新造の牢	二ノ八三
しんき	三ノ九三	新艘突出し	一ノ六六三
神祇官	二ノ二二三	唇齒の國	三ノ五二一
仁義だて	二ノ六四四	新島守	四ノ二一〇
宸襟	二ノ二四四	新酒の酔	一ノ六七六
新銀五百八十目	三ノ六八六	震且	四ノ四五二
しんく	一ノ一八八	死んだる人の熊野詣	三ノ三四八
身口意業	四ノ八〇五	新地	三ノ六四七

心中	一ノ一六三	秦の趙高	三ノ三七二
心中の作法	一ノ二〇五	親は泣寄り	一ノ一九七
心中の下地	二ノ四九三	宸筆	二ノ六六六
心中の新物	三ノ二二五	しんべ	三ノ四一五
心中よし	一ノ二四八	神變自在	四ノ八二一
身代は木賊色	二ノ五四一	神變不思議	四ノ二八九
死んでのけたい	二ノ七五一	新發意	二ノ五九
死んでは帷衣一枚	一ノ三六八	神木	四ノ三四九
しんどい	一ノ三四五	神木に打つ釘	四ノ一六
神頭の弓勢	一ノ六九四	心魔	二ノ二二四
眞如堂か長樂寺	一ノ一八八	新町橋	三ノ三九九
秦の始皇は不老不死の薬	四ノ六三八	新町橋を鶴の	一ノ二四六
眞の莖子	三ノ一五	神妙	一ノ二四八
	三ノ三九三	じめんづく	一ノ三四八
	四ノ五六八		一ノ二七〇

神明宮	二ノ三二五	生姜一片	三ノ七八
神明社	二ノ六〇二	淨海	三ノ三七五
海陽の江	三ノ一七〇	正月着物播摩海	二ノ四二七
森羅萬象	三ノ五六四	相國	三ノ三七三
しんろ	四ノ四五一	正五九月	三ノ一六八
下阪	二ノ七三五	松根によつて	三ノ二六一
霜月	一ノ二一九	しやうごん	二ノ一六一
霜に憧れ霞に伏し	一ノ四三九	じやうじう師走	三ノ六四九
下の關	三ノ二二三	情を情に立る	一ノ四三七
下宮島	一ノ七二七	上手	二ノ五二七
下屋敷	二ノ六四六	生死二枚の繪双紙	三ノ一七三
邪淫	四ノ三四八	正眞貧乏隙なし	一ノ四六五
邪淫戒	二ノ一八三	精進潔齋	二ノ四三〇
生姜	四ノ一〇四	盛眞僧都の芋頭	一ノ七四七
	三ノ五〇〇		二ノ三五七

しゃうく〜てい	一ノ七二九	正法に奇特なし	四ノ八七
しゃうく〜遍照	二ノ三三四	相伴	三ノ三三七
正笏一輯	四ノ八三	淨玻璃の鏡	四ノ一六三
照射する火串の	四ノ六三五	章甫の冠を沓にはき	四ノ二三六
正たい涙	三ノ七六二	章甫の冠花紋の靴	三ノ六〇一
しやうど	四ノ三四六	勝曼の愛染様	二ノ六五三
聖徳太子	二ノ六四一	勝曼参り	二ノ五七四
城内はかなはぬ	四ノ八五	唱名	三ノ七一五
賞の疑はしきは重くし	一ノ一四五	庄屋	三ノ七四八
庄野の六藏	二ノ二八八	性よし	一ノ一八二
焦熱地獄	一ノ四九一	上臈	二ノ六六二
正念	二ノ九〇	淨瑠璃御前	三ノ四四八
松柏の萎むに遅る	三ノ三九六	淨瑠璃に乗しやんな	一ノ四五二
情張つて	三ノ四一五	淨瑠璃玻璃	三ノ四六四
	一ノ六九三		

麝香	一ノ七三四	邪見者	三ノ二二八
蛇籠	二ノ三二一	じやく〜馬	一ノ五七三
釋迦でも	四ノ八	しやじやないか	三ノ六四七
釋迦に經	三ノ六〇三	しやちらごはい	三ノ二七三
しやかにない	三ノ六九五	しやちらさんぼう	二ノ五五七
じやくは雨と降り	三ノ七八二	娑迦羅龍王	二ノ三二一
釋迦の子神の子	三ノ一七五	蛇の子孫	一ノ二四七
釋迦は去り彌勒は未だ世に出ず	三ノ一四七	蛇の目の紋	一ノ六七二
しやく	一ノ一四九	娑婆	三ノ一四七
寂光淨土	四ノ八五	娑婆世界	三ノ一九三
寂光の都	四ノ一六六	娑婆てんくわう	二ノ一六五
借錢だん	二ノ七〇九	じやはにや	四ノ七九五
釋妙意	三ノ七一五	しやはんに	二ノ七二
寂滅いらざる	一ノ七四七	邪魔	三ノ三九九

しやまだるい	一ノ二六三	しやれた料理	一ノ一六〇
沙彌長老	三ノ九〇	じやれてんがう	三ノ一〇一
沙門	二ノ七八	石上樹下	四ノ一三八
蛇柳	一ノ五九〇	宿紙	三ノ四一五
しやら臭い	一ノ三八八	祝髪	三ノ三六一
沙羅双樹	三ノ三七一	宿坊	一ノ五五四
しやらな	一ノ三三九	宿村	二ノ五六六
沙羅林	二ノ四七四	宿老	一ノ五六七
沙羅林の煙	四ノ八七	守護職	二ノ一八八
舍利	一ノ五九〇	主従の冥加	一ノ二六一
しやりかうべ	一ノ一六〇	朱雀三谷	一ノ二四三
じやれ	二ノ四八六	殊勝	二ノ四二八
しやれ貝	一ノ三三四	衆生	三ノ一一三
しやれた頭	一ノ二二八	衆生の爲の親	一ノ三二六

珠數の百八	一ノ三五六	春正蒔繪	四ノ八四四
衆道	三ノ七二一	順道	三ノ二四七
衆道の秘密	一ノ五四八	撞木町	一ノ二二六
手談	三ノ六一二	撞木杖	一ノ二〇四
修多羅	四ノ七五	主馬判官盛國	三ノ三九七
出家	一ノ二七二	俊寛僧都	一ノ二七二
珠數に繫がん菩提寺や	一ノ三二七	順禮	二ノ六五六
酒吞童子の首	三ノ三二七	首陽山の薇餅	四ノ二三六
主と病にかたぼね	四ノ一四八	修羅前	三ノ三八五
主の役目	四ノ二二六	しゆら出立	三ノ三三二
首尾	一ノ一八五	しゆらい	一ノ四三八
じゆふくかく	一ノ三三〇	修羅の獄卒	二ノ五九六
主日下り	一ノ三九〇	修羅燃す	二ノ八七
	三ノ六四五	手裏劍	三ノ七七二
	四ノ二四八		二ノ六八

出離生死	三ノ三九四	しよざい	二ノ四九六
修理頭	二ノ六二	しよざいの無常風	二ノ六三六
殊利榮特の阿房	三ノ六九五	諸待の上	四ノ一〇八
受領衛府	三ノ三七二	初七日は曼陀羅華	二ノ二〇四
受領職	二ノ一八一	書寫山	四ノ七一
しようげ鳥	二ノ六四〇	書寫山の衆徒	二ノ四五三
諸行無常	一ノ七四六	諸社の奉幣	三ノ三七三
卓	四ノ一四七	諸太夫	二ノ一二二
食悦	四ノ二二〇	諸人の繪本	二ノ二二二
式子の君の淨名立	一ノ二五一	序破急	三ノ二九三
蜀江の錦	二ノ三二一	諸傍輩の附合	二ノ二二四
諸國の受領	一ノ六〇八	初夜	一ノ一九八
所化	四ノ八八	諸役御免	三ノ八七
如在なし	二ノ三七四		一ノ二八一
	一ノ三三五		

初夜後夜晨朝入相	四ノ六六一	自力	一ノ四三九
初夜の鐘	四ノ四七	しれ者	二ノ一三
所勞	三ノ三七三	銀作り	四ノ三〇
女郎屋の身	一ノ二六一	白きを後と花の雲	一ノ一八三
白河越	四ノ六四	白小袖に淺黄上下	三ノ二五四
白河法皇	二ノ一九五	四郎五郎	三ノ七四三
しらごかし	一ノ四三七	しろなして	三ノ一八一
しらげたつるや	二ノ六三	白鼠	一ノ一九九
しらける	一ノ二五〇		一ノ七〇四
白洲	二ノ一八六		
白茶	三ノ二三九		
知らぬ火	一ノ七六三		
白髭	四ノ八五三		
白拍子	三ノ四三六		

すわきの涙	三ノ七八七	推	三ノ七四六
		粹	一ノ二〇二
		推當	四ノ四九

随求陀羅尼	三ノ三八一	菅垣鹿踊	二ノ二九三
西瓜、黒實	二ノ二五一	姿の池	二ノ一七五
すいこな奴	一ノ六六五	敷寄	二ノ七一六
瑞相	一ノ一九八	鋤鎌	四ノ一六七
推參	二ノ一三六	杉菜	四ノ二九六
水晶の根附	三ノ一九六	すきびたい	四ノ九六
水晶の百八	二ノ三三一	敷寄屋	四ノ三三〇
垂跡和光	三ノ三四八	杉山平八	四ノ五七二
水仙清き姿	一ノ六〇四	祐經を思ひの儘に討おほせ	二ノ四九〇
數千匹	四ノ五一〇	双六盤	四ノ七三八
翠帳紅圍に枕並べし	二ノ六五一	すい	四ノ四四五
末しら雪	一ノ二五五	鈴鹿	一ノ二四九
末摘花	四ノ一七二	鈴鹿山	一ノ四七八
末長き返事	一ノ六六三	篠懸	二ノ八六
			四ノ七一

生絹	二ノ四三八	すどに	四ノ一五〇
すいしい	一ノ二五三	砂場	一ノ二四四
すいしめ	三ノ四六六	酢につけ粉につけ	一ノ二一〇
すいどき	三ノ七八四	すねごと	二ノ五〇六
すいどけ	三ノ三〇四	すは	一ノ三三二
すいどし	四ノ四三三	諏訪	一ノ七三〇
すいはら	四ノ一九	すべい奉公	一ノ二一一
裾七のづ	三ノ七四四	簀卷	二ノ三三九
すぢりもぢり	二ノ六五四	須磨の高波	二ノ二九〇
すつきり	一ノ二二九	相撲取草	四ノ一八二
酸でさいて飲む	三ノ二二七	角前髪	一ノ六〇四
捨ても置れず取れば俤に立まさる	四ノ八六〇	炭屋町	二ノ六八七
		住吉玉津島	二ノ四九一
		すみよつた	二ノ三三三
既に今年の酉もたち戌の顔見せ	一ノ四二一		一ノ三三一

寸	一ノ二〇一	誓願寺	二ノ一九五
寸善尺魔	二ノ七三四	清見寺	一ノ四七九
さんぼら坊主	四ノ七六〇	贅こき	二ノ七四八
すめる世	二ノ六五六	贅こきの彦さん	一ノ六七五
すもの草	四ノ一八三	制札	二ノ七三三
掏兒	一ノ二一〇	青侍	四ノ二九
駿河包	二ノ六二七	清十郎殺さばお夏も雑せ	二ノ四七一
		西施乳	二ノ二一〇
		せいしん	二ノ二二四
		聖人出世の此國	三ノ五三
		せいすい	三ノ一八三
		青田の劉伯温	三ノ六二〇
		青苔衣を帯びて	三ノ六〇六
		せいだう	一ノ二四六
			四ノ一六六

[せ]

青天蒼々	二ノ二八三	世界の樂	三ノ三三七
成敗	一ノ四八五	せかいらき	一ノ一八三
性は善	二ノ七三二	せがむ	一ノ一五八
誓文	三ノ一三一	せかれさんしても	一ノ三三四
誓文くつされ	四ノ三七九	せき	一ノ二五二
精力	一ノ二五三	關所廻船	四ノ二一九
井樓矢切	二ノ六三三	節季候	一ノ六〇三
清和源氏	四ノ一九七	關路の鳥	二ノ六五六
笑止	四ノ二七五	關路の鳥も聲々に	四ノ二九四
小身	一ノ二六三	關寺	四ノ八六三
小知	一ノ三四〇	關寺か高観音	四ノ四〇
小路がくれ	四ノ三九九	關渡の院	三ノ二八二
せうと	三ノ八八	關のお地蔵は親よりまし	四ノ二三九
焦熱	三ノ一九二	關の地蔵	一ノ七七七
	四ノ一一		一ノ四九二
	四ノ三八九		

關の清水	一ノ三三七	せつい	一ノ六六九
關の孫六	四ノ四〇〇	節季	一ノ二〇九
赤壁とて昔東坡が配所	二ノ七六二	雪舟	三ノ二六四
關吹きこゆる秋の風	三ノ五六四	殺生	一ノ二九六
石藥韓藥	三ノ六一七	切々	一ノ一三七
せく涙	三ノ四九四	雪駄裏に	二ノ五二一
世言口を閉たれば	一ノ三三四	せつちやう	四ノ八三〇
世間の口に戸をたて	二ノ九四	せつてくれ	二ノ六四八
せごう	二ノ五七八	せつなき	一ノ三四六
せこめ廻す	四ノ六八七	刹那	三ノ三六六
脊筋に源氏の氏神正八幡	三ノ二二九	切羽厘金	四ノ一四三
世帯佛法腹念佛	三ノ四〇六	節分	二ノ四三四
せちかな	二ノ四九八	座頭まじくら	四ノ二一六
世智辨	二ノ七〇二	瀬戸	一ノ三四六
	三ノ六四五		一ノ三八三

瀬戸の染飯	一ノ四七九	千貫松	一ノ五三一
せごや	二ノ六八二	遷化	三ノ二六二
錢百	四ノ七九六	善哉餅	三ノ七八九
瀬尾太郎	三ノ三九六	善哉祝ふ	一ノ五四九
せびらかし	一ノ二〇九	穿鑿	一ノ六〇五
せびらかす	二ノ六三三	千手觀音の	一ノ一八三
蟬折	二ノ六三三	千手觀音の	二ノ三三五
せみの小川	三ノ四五〇	千手の眞言	三ノ三八一
蟬丸	二ノ三一九	千秋樂は民を撫で	三ノ一一八
仙家の日月	四ノ七	三世	四ノ三九二
詮議	二ノ二〇三	前世の業	一ノ二〇一
仙宮	一ノ一三五	潜上	一ノ二五二
川芎	二ノ三一一	千僧萬僧	三ノ二二七
せんぎまんぎ	三ノ七八	先知	三ノ三六三
	三ノ三一〇	善知識	三ノ一二八
			四ノ一三九

善導法然
 梅檀
 旃檀の木橋
 先途の官職
 千日の回向
 千日寺
 善の綱
 禪門
 千里が竹
 せりふ
 世話をやきやむ
 世話やむ

三ノ八九
 二ノ四七四
 三ノ七〇六
 二ノ二〇九
 三ノ九〇
 一ノ四一〇
 三ノ四三一
 一ノ一八二
 三ノ五五八
 一ノ三二二
 一ノ三八五
 三ノ七四九
 一ノ二二九

【そ】

總家
 奏者
 ぞうちやう
 崇禎十七年
 そうでない
 宋の陸子靜
 臍腑を揉む
 そうぶつ
 宗味が石鐘の開帳
 曾我兄弟亂入の刻
 俗のお内儀
 そぐはぬ
 そこだめ
 そこな人

一ノ一九一
 一ノ四八五
 二ノ七
 三ノ五二〇
 一ノ四四四
 四ノ八〇
 二ノ七九三
 一ノ三六八
 三ノ七七一
 四ノ七五〇
 一ノ五四九
 一ノ四七七
 四ノ四九七
 一ノ一五〇

そこはかとなく
 楚人の一炬
 そくくさ坊主
 そいろ
 そいろ言
 そだてる
 そつといたいた唐商賈
 袖から渡す
 袖乞
 袖島源治
 袖打拂ふ蔭もなし
 袖にする
 袖には志賀の
 袖の下

四ノ一八
 三ノ六一九
 三ノ七七二
 二ノ二二〇
 三ノ六七七
 三ノ六五二
 一ノ七三〇
 二ノ一五六
 四ノ三六六
 二ノ四八九
 三ノ七
 四ノ二二七
 三ノ一〇二
 二ノ三三〇
 一ノ四九六

袖のとめき
 袖の湊
 袖判
 卒塔婆
 そなた栴田の真中程で
 そなたは藤屋の吾妻かの
 そなたは法華我は淨土
 曾根崎の狂言
 曾根崎の森
 其の花
 其日に其身を討れたり
 其の濱荻
 そはく
 そはくせず

二ノ二五二
 一ノ二二二
 一ノ二六八
 一ノ五五五
 一ノ五二九
 一ノ七一
 一ノ四〇七
 二ノ六八一
 一ノ三五六
 三ノ一七〇
 一ノ三九九
 四ノ二八七
 二ノ四八九
 二ノ六一八
 一ノ四九八

ぞんざい
孫晨
そんじようそこ
そんつぎて
蘇迷廬の山
染川
ぞめく
染小袖
染しだいなし
そもじ
そもや
そもやそも
そよとの便り

一ノ一八八
二ノ六四五
三ノ七四六
四ノ六九七
一ノ六九六
三ノ一六八
三ノ二四七
一ノ四一〇
二ノ七五四
一ノ三五八
三ノ二九七
三ノ一七六
二ノ七四
二ノ七四
三ノ一七八

空おぼれ
空言に
剃下げ
空寝入
空耳
夫れつらく惟れば
それはあつて過ぎたこと
それは吾妻の
それや
候べく候

二ノ二二三
二ノ四四七
一ノ四七七
四ノ三四七
三ノ三三四
一ノ二四四
三ノ六一六
一ノ三九四
一ノ二七五
一ノ三九一
一ノ二〇五
一ノ六〇五
三ノ四六四

第

【七】

第一第二の絃は

大一大萬大吉
大うん物
太永七年
太かい童子
太行は細謹を願みず
太々神樂
大頭の舞
大願空し
大義親を殺す
大經師
大工殿より鍛冶屋が憎い
代官所
大立谷人

四ノ四二
四ノ七二四
二ノ五〇九
三ノ三六一
三ノ六一〇
三ノ四三八
一ノ二七一
三ノ二九一
四ノ一七
四ノ二八八
四ノ三三三
四ノ六〇一
四ノ三七七
四ノ九〇

たいけんたいそ
太鼓
太鼓鉦
大黒
大黒舞
太鼓過ぎ
太鼓持
胎金兩部の峰
泰山を挟んで北海越ゆる
大師
大司馬
大事は油断より起る
大盡

四ノ七二
一ノ二五七
一ノ二五九
二ノ五八二
一ノ二〇五
二ノ二二七
四ノ五三
一ノ一五〇
三ノ七〇七
一ノ一九二
四ノ七〇
三ノ六二七
一ノ五四八
三ノ五二〇
四ノ二三
一ノ一五七

大嘗會 四ノ三六一
 大衆 二ノ一一〇
 大職冠 四ノ四五三
 大織官十九代 二ノ三一九
 臺子 四ノ三二四
 臺子の間 四ノ一〇三
 大成論 三ノ四九一
 大小は此胸 二ノ七一九
 太祖高皇帝 三ノ五三三
 だい／＼盡 一ノ六〇二
 大道人 二ノ三六五
 大地をたゞき 一ノ三四〇
 退轉なく 三ノ四六六
 大の字の金刀點 三ノ五三二

對の屋 二ノ二二一
 臺引物 三ノ七三七
 大悲千體の菩薩 三ノ四六五
 太夫 一ノ二五〇
 大佛島 二ノ四九〇
 大佛殿の勸進所 一ノ四二二
 大佛殿の再興 二ノ一八五
 大平記講釋 四ノ三四八
 大名 一ノ三三一
 大名に生るゝ種の一粒 一ノ四六九
 大明日 二ノ二一八
 大明ちんしんにようろ 三ノ五五二
 題目 一ノ四〇七
 大佛の浦 二ノ二九三

大門 四ノ一六四
 遠夜 三ノ七一五
 大融寺 一ノ三二三
 大り 三ノ七一九
 たう網 三ノ三三三
 當今 一ノ七八四
 當世獨樂盡し 二ノ二九六
 堂島 二ノ五七三
 堂島のお屋敷 二ノ六二九
 道心 三ノ二二七
 道成寺の鐘 二ノ七二五
 道正坊の金柄抄 二ノ四八八
 陶朱公 三ノ六一一
 燈臺草 四ノ一八二

道中双六 一ノ四七六
 唐土育王山 三ノ三九七
 唐土の聖代の巡守 四ノ四
 唐土のたつとい聖の供養 四ノ一四九
 唐土へ祠堂 三ノ四一四
 道頓堀 一ノ三二九
 道頓堀を天神へ 二ノ六七四
 當年末の初曆 四ノ三九二
 唐の祿山 三ノ三七二
 田植 四ノ三七四
 唐へ投金 三ノ三九八
 蟻螂が斧 二ノ七五二
 たうわなく 四ノ三〇〇
 たをやく 四ノ二七九

たい—たい 索引

たをれ	二ノ七三五	高手籠手	二ノ八七
高い山から谷底見れば	三ノ一四三	鷹野	一ノ一三五
高尾の屋形	四ノ七八二	高野川	二ノ三二一
高尾山	三ノ二五六	高房が姫三の君	四ノ七六三
鷹狩	二ノ三二一	高向の玄理	四ノ四七八
誰かりす	三ノ七二七	高安	二ノ一七三
高木に勝つとの心	三ノ七五六	田島	二ノ四二七
高き山の頂き	二ノ一九九	寶寺	一ノ二七七
高砂の尾上の金も皆になり	二ノ四七二	薪に炭	二ノ三二一
高砂猫々	四ノ四六二	瀧口	四ノ六五四
高師山	一ノ二四七	瀧詣	二ノ三三〇
高瀬舟	三ノ七三三	瀧本流	二ノ三七七
高歌賃かく	一ノ二〇三	たくしかける	二ノ六二一
高槻の家の子	二ノ六二二	たくぼく	一ノ五一五
	三ノ六五五		

竹本の弟子	一ノ二八八	立かけのんこの頭がち	三ノ七二九
竹取の間	四ノ六三六	立君	三ノ二〇五
竹の内峠	二ノ六五六	立酒	三ノ六八七
竹の園生	二ノ三二八	たゝすまひ	二ノ二五一
竹の紋つく道行	一ノ四二二	たゝすみもない	三ノ七五二
竹光	四ノ二四七	裁着	一ノ四七一
竹本頼母	二ノ六三五	たゝとる山のほとゝぎす	二ノ一三〇
但馬の湯入	四ノ三七七	太刀と割木の金克木	四ノ七八六
田島半之丞	三ノ六	橋の小島が崎	四ノ一七
たしなみ	一ノ四八九	立腹	三ノ三三三
嗜む一腰	三ノ二二二	奪衣婆	二ノ四五〇
たゝきみしやいで	一ノ一六四	龍田や沖津白波	一ノ二八〇
只此の七字	一ノ四二二	龍田山	二ノ一七三
誰もない身	三ノ七五三	たつては	二ノ八三

辰の市	二ノ一七四	たねはら一つ	二ノ五八九
辰の刻	四ノ二一三	頼みの祝	三ノ一〇九
巽上り	一ノ二〇六	頼母し	一ノ五七一
立や浮名の濡れ草鞋	二ノ四二七	頼もし立が身のひし	一ノ三四八
立烏帽子諸眉	四ノ九五	たのふ	二ノ三〇六
伊達を所在	三ノ四四九	たはつけん	四ノ三八
伊達小袖	三ノ五〇七	田原	二ノ六〇三
たて殺す	二ノ六五一	足袋の片足	二ノ五三九
伊達衆自慢	二ノ七四九	旅のひな人	一ノ三四一
だての大木戸	一ノ二四四	多武の峰	四ノ四七三
店卸し	二ノ六四二	當麻山	二ノ一七四
掌に候	四ノ一四五	玉ある淵は岸破れず	三ノ六〇三
たなつ物	三ノ七四九	たまか	二ノ四四七
谷の戸	一ノ六〇二	玉かづら	二ノ六九二
			一ノ三五二

玉川	一ノ五八八	玉世の姫	一ノ四二五
玉川千之丞	二ノ四	玉依姫	二ノ二〇七
玉火焰	一ノ一五三	民を恵みの言の葉	四ノ三七
たまげ	三ノ七三〇	民を以て天とす	四ノ八一
玉琴	二ノ一四九	民草	四ノ四
卵を渡る危さ	二ノ四六三	田鏡橋	二ノ五七三
魂のありかを	一ノ三五八	断悪修善	三ノ五二二
玉の緒	三ノ五三九	淡海公	四ノ四七四
玉の輿	一ノ四八七	短氣は損氣	二ノ六四〇
玉鉢	一ノ三二四	断金の契り	四ノ二四一
玉水	二ノ一〇四	短繁	二ノ七九〇
玉水の里	四ノ二六六	丹心をおこし	二ノ二二三
玉蟲拾ひ	三ノ七四八	樂車	四ノ二一一
玉藻	三ノ四五四	たんできの法	四ノ九二
	二ノ二八二		

たんと	一ノ三四五	田村堂	一ノ五〇〇
段々	二ノ一〇九	田村丸鬼神退治繪馬	二ノ三三五
だんない	二ノ五一六	ためし物	四ノ三六〇
だんな勘定	一ノ一三七	たも	一ノ一九八
旦那寺	三ノ七七二	たもる	三ノ二一〇
旦那まさり	三ノ二二八	太郎内にか	一ノ二〇四
旦那の名だい	一ノ三三一	太郎冠者	二ノ三〇四
旦那坊主	二ノ七五六	だらりがなる	一ノ二二一
丹波粟毛	一ノ五二七	だら聲	二ノ六八八
丹波越	一ノ二九一	たらす	二ノ七二〇
丹波の栢原	四ノ三六七	たりひづみなき	二ノ二六四
だんびら物	一ノ七二六	垂井	三ノ四三二
断末魔	一ノ三六一	端	二ノ二八四
探幽	二ノ一六一	達磨	二ノ六四一

【ち】

梅屋町	一ノ四〇七	中呂	三ノ五二〇
誰をかも知る人にせん	三ノ二五八	中納言行平	二ノ二〇四
血忌	四ノ三八九	中年	一ノ二八〇
ちう	一ノ四三七	晝夜に只た二度の節季	一ノ七七七
中有	二ノ五三八	智恵にも能はぬ	一ノ二九〇
中有の關	三ノ二四〇	ちか	三ノ六〇八
中宮	二ノ二二二	地金	二ノ五四五
中間禪	三ノ六一二	力紙	四ノ四三五
中國	四ノ四五三	力草	四ノ一八二
中食	三ノ七五八	畜生界	二ノ五三八
重代	一ノ一九八	知行	一ノ二二八
中將姫	二ノ六八四	持經禮讚	四ノ一七一
		直に瀧見の観音	四ノ五二
		乳兄弟	二ノ三三一
			二ノ五八〇

契りおきてし	一ノ三二	知識長老	三ノ七七六
千草八千草	四ノ一八二	知死期	一ノ三六二
畜生め	一ノ三三九	血沙の臘染	一ノ四〇八
竹筒	三ノ二八二	治承三年	三ノ四六七
ちくら	一ノ七四三	智者は	四ノ八三
ちくらの沖戸におきたらはす	四ノ八〇六	智者は迷はず勇者は恐れず	三ノ七八六
ちくら者	三ノ六〇三	地主の櫻	二ノ三二九
ちけん	二ノ二七五	地水火風	二ノ八〇一
知見	三ノ六二〇	地藏、猿女と坊主の面	二ノ六
兒が瀧	一ノ五八九	地藏薩埵	二ノ六
地獄おとし	一ノ五一六	千度見れば千々の思ひ	四ノ七六六
地獄の上の一足飛び	二ノ六四九	父御のそんを継ぎ	四ノ四二七
地獄の釜の蓋	二ノ五三三	父父たれば子も子たり	四ノ三二
血酒	一ノ七五六	父帝の御宇百濟國より	四ノ八三

千歳の昔千里の海	四ノ六六	ちんだ	四ノ八四五
血の池	二ノ一六四	珍重	四ノ四五八
乳の下を掻切り	四ノ五一五	焔毒	二ノ一三三
血の涙	一ノ三三七	陳皮	三ノ六二九
血の由縁	一ノ五九四	ちんかう記	三ノ七八
千早の城	四ノ三五二	朕が不徳	三ノ七六〇
千早振	三ノ二三四	ちんぶんかん	四ノ五
千尋の海	二ノ二一九	長康、張僧、陸探	四ノ四五八
地ぶく	三ノ四九三	貞観	三ノ三六一
乳房を含め養ひ候	四ノ五	帳消し	四ノ四五三
ちん	三ノ六四五	長者	二ノ六四七
鎮座	一ノ二八一	長者經	一ノ二〇六
鎮守府の將軍	四ノ七七〇	長者宜	一ノ七四五
鎮西八郎爲朝	三ノ三七九	長沙の罪	二ノ一九二
			三ノ五四六

長生殿	三ノ五二六	茶の名所	四ノ五七二
ちやうせつ	一ノ五九二	ちやんざりしつきり	四ノ四四八
朝鮮人の饗應	三ノ七三二	茶船	四ノ六二〇
提灯二つ紋付る	二ノ五七五	茶船に樽肴	二ノ四八八
提灯に釣鐘	三ノ二二八	茶びん頭	一ノ二二四
帳臺	四ノ一〇三	茶屋酒	一ノ一八三
町人の天の道	一ノ六九四	ちやるめら	三ノ五六五
長絶頭巾	一ノ二一六	女樂	二ノ三三九
張良	二ノ三四三	ちよがらかす	三ノ六五二
張良樊噲	一ノ四〇二	ちよくと	一ノ二八四
ちやうらかす	四ノ三二四	ちよびかは	三ノ七四九
ちやかす	三ノ二七八	散し太鼓	一ノ四三二
ちやぐちう左衛門	三ノ五七二	ちりげ	四ノ六五四
茶の子	三ノ三〇六	智略	一ノ二二八

地鯉鮓の市
地黄

ついで	一ノ一九四	つがもない	二ノ四九三
つうくつ	一ノ二六八	月を後光	二ノ六四
ついで	四ノ八三〇	月行事	二ノ六四八
ついで	四ノ一四五	月草	四ノ一八三
ついで	四ノ二二七	月代	四ノ一三〇
追灘	三ノ三五三	盡せぬあはれ盡る道	一ノ三五六
ついで	四ノ二八九	つきせぬ契り	二ノ六三
通路	一ノ三八四	突出し發の下筭	一ノ六一八
つかうど	一ノ四七六	つきくし	三ノ三三六
掴み面	三ノ二二九	築地	一ノ一四五
つがもない	一ノ一八七	つきともない	一ノ四三八
		月の都	三ノ五二五
		月の輪	四ノ六三七
		月は一つ影は二つ	二ノ二八八

三

月参り	三ノ三二	つくも髪	四ノ五九
繼目	二ノ七	作りし罪も消ぬべし	四ノ一四七
つきもしほもなふ	一ノ一九〇	つけがみしたる風折や	二ノ三二八
月雪花紅葉	二ノ四三八	付出し	四ノ五六
月夜に夜鍋	一ノ七四八	つける	一ノ二四八
月讀	三ノ一七二	つごと聲	三ノ七二二
月もより日もよる	三ノ八五七	厨子	四ノ三五〇
つくからに	四ノ三九	辻談義	二ノ二四
筑後の川中島	三ノ七七四	辻の番太	四ノ六二
筑紫	四ノ一四一	頭陀	一ノ二六一
筑波川	四ノ一一	傳へ聞孔子は鯉魚に別れ	一ノ七四六
筑波根の峰より落る瀧の白玉	一ノ六六二	土大根	三ノ四一〇
突棒刺又鐵の棒	二ノ八七	土氣	二ノ四六六
突棒さす又	三ノ三七九	土氣の賤の里	二ノ三七一
			二ノ三三一
			三ノ二五八

樋で庭	一ノ七二四	圖なし	三ノ七三六
土も木も	二ノ八二	角の生ゆべき勢	一ノ一五三
頭痛八百	一ノ六〇四	粒三文	一ノ二〇七
筒落	一ノ二五二	頭北面西右脇臥	二ノ八〇五
恙なし	二ノ二二三	局	一ノ一四九
づゝなし	二ノ七〇一	局女郎	二ノ六五二
つゝほり	四ノ三四〇	壺の印	三ノ四八五
堤の茶屋	三ノ七五四	荅む花出る月	二ノ六七五
つゝまし	二ノ六五五	爪木	三ノ三六〇
つゝましく	三ノ三四九	妻戀	三ノ二〇八
葛籠	二ノ六二八	妻ごひ鳥	四ノ六三
つゝらおかさ	二ノ八六	罪なくて配處の月	一ノ二〇三
つゝら笠	三ノ一八一	妻も籠れり	二ノ六五五
つどく	二ノ五九五		一ノ六八五
			四ノ二〇

罪も夏の雲	一ノ三三二	劔の山	三ノ七〇五
詰め開き	一ノ四二七	劔は箱に納め弓は袋に治る	二ノ三〇四
津山玄三	二ノ五一八	鶴のあはれ	一ノ四九六
露	一ノ六七五	綾袋	二ノ三三四
露の命を君にくれべい	三ノ二九七	つれく	三ノ七六一
露のうき身の置所	一ノ三五八	つれくなるまゝに	二ノ三二七
つよきおきめに粟田口	四ノ三九〇	連て飛なら梅田か北野か	二ノ七五八
つらうち	三ノ七六五		
面出し	一ノ二八三	[て]	
貫之が古今集	二ノ一九四	手過ち	二ノ五九七
つらゝいて	三ノ四七四	手いけ	一ノ二四七
釣行燈	一ノ三五一	亭主	一ノ一五八
敦賀	三ノ二五六	手いたいこと	二ノ四九六
鶴が橋	一ノ六二八	定	一ノ二七一

丁銀	一ノ三七三	古語に傳へし雁金	四ノ二一七
趙子昂	三ノ二九一	でこのぼう	一ノ四七四
趙泉寺	一ノ三二五	手品	二ノ二九八
鳥目	一ノ六三〇	手代	四ノ三二三
手を打ぬばかり	二ノ六二三	出茶屋	一ノ三二九
手があけば足があく	二ノ五四九	鐵拐	三ノ七四〇
手かけ	三ノ二七六	鐵拐仙の再來	四ノ九三
手形	一ノ二七一	でつかく	三ノ七九
出来た仕様	三ノ一〇二	でつかちけない	四ノ一七五
出来ました	一ノ一五六	でつから	二ノ五四五
手ぐすねひく	一ノ二四九	でつくぐし	二ノ八〇
手管	一ノ一八七	鐵火を握れ	二ノ五七〇
手くら	一ノ七四三	でつちが腰	三ノ二五五
手こ	三ノ一三四	でつべい	四ノ七八五

鐵炮大將	一ノ二九八	天下を恐ろし	二ノ四〇二
てゝ	一ノ二〇六	天下は夜中	一ノ二四五
父御前	三ノ二二四	てんがふ念佛	二ノ七四九
父なし金	四ノ八〇九	典厩	二ノ三九八
手取にあたゝまる	一ノ二〇七	傳教大師	二ノ二二七
手鍋	二ノ四五三	天慶の純友承平の將門	四ノ六四
手習小供	三ノ一六九	天狗風	三ノ三七二
手の悪いこと	一ノ二三四	天狗道の三熱	一ノ五六五
手判	一ノ四七八	天狗の法	四ノ一八七
手鞠とれく	四ノ三三三	天狗の筭	三ノ三九四
手鞠の曲	三ノ一七一	天啓五年	四ノ四九
手見せ禁	一ノ六九二	天骨の妙	三ノ五六三
天一天上	四ノ三八八	天清淨地清淨	三ノ三〇〇
點を打つ	三ノ二二七	天赦鬼宿日	三ノ一七五
			一ノ二八九

殿上人	四ノ二二	てむとぼし	三ノ七六九
天神	一ノ二五一	貂になり鬼になり	二ノ一八二
天神様より太夫様	三ノ二六三	天にうたふる	四ノ六
天神地祇	四ノ八四	天の成せる賢王	二ノ二〇三
天神橋	二ノ七九七	天然彩墨の妙手	三ノ三六一
天知る地知る	四ノ三七六	天の時は地の利にしかず	三ノ五五七
天台	二ノ六四	てんば	三ノ九四
天台の教を學び滄浪に心をよせ	二ノ三二八	天罰	一ノ一九三
天道	一ノ二二七	てんは	二ノ三三四
天道を掠めをる	一ノ一九三	てんぼのかは	二ノ五九八
天道が物をおつしやれば	四ノ三三七	天魔	三ノ三〇五
天道知らず	四ノ三〇	天満川	一ノ四四五
天竺浪人	二ノ六九二	天満社	二ノ四八六
てんど	一ノ二五二	天満とやらの神明	三ノ一六九
			一ノ六二三

天満に年経る千早振る	二ノ八五七	天王寺	四ノ五二三
天魔の所爲	四ノ五八	天王寺十五社	三ノ一七一
天満橋	二ノ七九八	天王寺の六時の鐘	二ノ一六七
天魔破句	二ノ四〇二	手も足も釘になる	二ノ七七〇
天満屋	一ノ三四四	手もめ	三ノ七〇七
天満屋お初	一ノ四二二	手盛にさせる	三ノ一九八
天目	二ノ六〇〇	手夕霧	一ノ二八八
天目	三ノ八〇	寺岡平右衛門	二ノ三八三
天目鞆	四ノ四一九	寺狂ひ	三ノ七六八
てんもくらしいわ	三ノ二七六	寺御幸駄屋富柳堺町	四ノ四三五
典樂	三ノ七五〇	寺子取	四ノ八三三
店屋者	二ノ六九四	照手の姫	三ノ三四六
天龍八部	四ノ七三〇	照日の神も男神	一ノ三三二
天暦の帝	四ノ二二二	てれふれ	一ノ五七三
天りん王	二ノ二八四		

【と】

寺町	二ノ五九九	どうで女房に持やさんすまい	一ノ三五五
十市	二ノ一七四	とうく	四ノ三〇
胴が居る	一ノ四〇二	藤内四郎殿	四ノ二九二
胴返し	一ノ七六二	十うに	三ノ六八六
等巖	三ノ二九七	頭の中將	二ノ一三三
春宮の傳	二ノ二〇五	幢の旗幡の旗	三ノ六〇一
どうじ	一ノ三三三	銅の吹屋	三ノ四九二
同宿	一ノ五五六	東方朔の九千兩	四ノ三二一
胴すはり	一ノ五三一	どうぶくら	四ノ三三二
どうすり	一ノ三四九	豆腐に買はれ	一ノ三三〇
同道	二ノ七二八	豆腐の媼	二ノ三五四
どうで女房にや	三ノ一七〇	同朋	三ノ八一
		どうよく	一ノ一一二
			一ノ四五五
			三ノ三三〇

どうらく	二ノ二八二	とくぬ	一ノ三二九
蜥蜴	二ノ二八三	獨鈷	四ノ七二
富樫の關	一ノ二四四	毒蟲	三ノ四九四
谷はなし	一ノ一九四	とく	二ノ三二八
谷め	一ノ二〇一	徳若に御萬歳	二ノ三八六
どか儲けどか損	一ノ六七四	どこをしやうど	四ノ三七二
齋	三ノ八九	何處やらの男	一ノ二六八
研出し蒔繪	一ノ四七〇	葛蓀	二ノ五〇七
齋にこそ外れたれ非時を喰ふ	三ノ五三七	心太屋の水機關	三ノ六二六
関の聲	三ノ五二九	土佐駒	二ノ六八〇
常盤御前	三ノ三七九	戸ざゝぬ御代	一ノ六一八
常盤の森	二ノ二八三	土佐坊正尊	四ノ四
常盤町	三ノ七五〇	外様	二ノ三四三
得庵堤	三ノ六四四	土佐光起	三ノ三二〇
			三ノ二九一

土佐光信	三ノ二六〇	といた男	一ノ二〇九
同士戰	四ノ九二	とゝかぬ	二ノ六四四
年男	四ノ二二七	とゝし	三ノ六八七
年籠りの參宮	二ノ六五八	止め	一ノ三三六
年の内に春は來にけり	一ノ六〇一	とゝめき	四ノ一四五
年ばいなる仁體	一ノ三七二	轟坊	二ノ七三
としやう骨	二ノ七一九	となせ	二ノ三二一
兜率天	二ノ六四	どなたさふ	四ノ二四一
土壇	二ノ四七〇	どの口聞いても	一ノ二〇九
戸帳	四ノ一〇五	殿御	一ノ二〇九
とつ河内屋	一ノ二〇四	主殿司	一ノ二二二
取て置き	二ノ七五〇	主殿司の菖蒲草	四ノ八六
とつち風	二ノ五四八	とはかは	四ノ七九三
どつはさつは	一ノ二〇四	鳥羽の祭	二ノ四二七
	一ノ四九四		一ノ四八三

とひ	二ノ六七七
飛梅	三ノ二六九
蔭が生んだ高給取	二ノ四二七
間談合	一ノ一八五
飛八丈	二ノ七八二
飛梅の神	三ノ三三四
とふぞく	三ノ三三五
飛ぶ鳥を落す	二ノ七四
飛鳥懐中に入る時は	二ノ七四
とふつつて	三ノ三三四
飛火の雉子	二ノ七五
飛ぶ火の野邊	二ノ六一
飛火の野守出て見よ	四ノ五二二
とぶるい	三ノ一三

とぼす	一ノ四三五
とぼく	二ノ六一九
遠山松	二ノ二九三
遠松甚六	二ノ四〇一
とほん	三ノ三三四
とほんとする	一ノ三九〇
通りや	三ノ三三〇
問へど	一ノ二二五
苦	二ノ四二八
苦を敷寝の	三ノ一四
泊りなら泊らんせ	一ノ四九〇
團栗の辻子	一ノ二二〇
貪喰痴慢	四ノ六三
頓證菩提	二ノ四七三

緞子	一ノ五七四
富田林	二ノ六五五
飛で時鳥	一ノ七五九
とんと	二ノ三四六
鈍な事	三ノ一三三
巴が馬上の繪馬	三ノ五八三
知盛が沈みし其の有様	二ノ三三六
吃りとしやべり	二ノ四九四
とめる	三ノ二八三
とよぐ	四ノ三〇
豊國野	一ノ五三三
豊の明り	二ノ五二九
豊日花人親王	二ノ二九七
とよひ	四ノ八三
	二ノ二〇八

豊浦の寺	四ノ五二二
銅羅	三ノ五七四
虎嘯けば風起る	三ノ五六六
虎が涙	二ノ五四六
寅の一天	四ノ七三一
虎の尾を踏む	四ノ六三六
虎の順	一ノ三三二
虎は千里	三ノ四四五
鳥居立	三ノ二八〇
とりうり	三ノ二七七
取組	三ノ二七五
とり粉	一ノ一九八
取込み	三ノ三六五
鳥の海濱三郎	一ノ六〇二
	一ノ一三七
	四ノ六四八

酉の下刻	四ノ六二六	内證	一ノ二二四
鳥の空音をはかるとも	三ノ六一五	ないそなゝないそ	四ノ三七
鳥は古巢に歸り	二ノ五九〇	中	一ノ二四八
どれ	一ノ六七九	仲居	一ノ四三七
どれい	一ノ六二七	長池	一ノ二七九
どろ	三ノ六六四	中川	四ノ二九七
どろく者	三ノ六六五	なかご	四ノ二二六
		中言	一ノ一八五
		中町	三ノ一七六
「な」		なかく	一ノ四五〇
ない	二ノ三八〇	泣ぬ鳥の聲	二ノ五七三
ない鎌	四ノ二〇〇	中拔	二ノ七五四
内儀	一ノ三三三	中の風	二ノ三〇六
内侍所	二ノ五七〇		二ノ三六〇
			一ノ三九六
			三ノ六四七

中橋	一ノ三八六	なこそこのせき	一ノ五七五
なかば	一ノ二〇三	名古屋山三	三ノ二六四
仲間にこたへる	二ノ六二二	名古屋肥前守	二ノ四一七
長柄	一ノ四三五	名残も夏の	三ノ七八五
長柄川	二ノ二九三	情口舌の萌出る	一ノ六六三
なから死	一ノ四一三	情こめたる此の時代	三ノ一六八
流るゝ水	二ノ一三五	情しり	一ノ一六三
流れ	一ノ二六〇	情の末	一ノ二三三
流れ瀧頂	三ノ二四七	情の間屋	一ノ一五七
渚の院	四ノ四	なすびの高	二ノ三四〇
泣しみづく	二ノ六三五	梨も磔	一ノ三三〇
泣上戸	一ノ四五六	南京皿蒔繪の家具	三ノ七二八
長刀草履	一ノ六〇七	なたてがましき天満屋お初	三ノ一七〇
長刀鉾	四ノ四三五	那智は千手觀世音	三ノ三四七

なつかし事	二ノ一三	七ツ立八ツ立	一ノ四九一
懐く	一ノ二〇四	七つの時	一ノ三五三
なづけ	二ノ四九八	七ツの芝居	一ノ四一〇
夏毛の狩野の筆	三ノ三六〇	七墓巡り	三ノ六六四
納所	一ノ五五六	斜ならず	四ノ三〇
夏の蟬	一ノ五三〇	なにがし	二ノ一四
なづむ	二ノ六二〇	何でやる	一ノ四七六
名取川	一ノ三二八	難波江の	四ノ六二五
七種はやす	一ノ六四四	難波小橋	二ノ七九八
七瀬の淀	三ノ六〇八	難波に咲くや此花の	二ノ六一三
七つ	四ノ七〇〇	難波渦	一ノ七一四
七ツ起	一ノ七四八	浪花藝者	二ノ四八九
七ツ道具	三ノ三七九 四ノ一四一 四ノ四一九	難波津	一ノ三三一
		難波津の歌	一ノ六〇二

難波の大君	三ノ一七二	なまいた坊主	二ノ七四八
難波の京	一ノ一八〇	曇護三曼多嚩	四ノ一六〇
難波の御坊	二ノ六六六	繪の雪	四ノ三三三
難波の祖師	二ノ一六一	なまづ川	三ノ六四三
難波橋	二ノ六〇〇	生爪	一ノ六七七
難波焼	二ノ六八〇	生面	二ノ九六
名にめでゝ	二ノ三二八	浪の三國	一ノ二二〇
名は堅く人は和ぐ	一ノ二〇三	訛り	二ノ六一六
なばしやくしか室が泊りか	二ノ三二〇	涙川	一ノ二二三
なぶらぬ	一ノ一五〇	波に山王祭	三ノ三〇二
なぶる	二ノ六二二	波にゆらるゝ沖津船	四ノ七三六
鍋が茶屋	一ノ二六四	南海の火洗布	三ノ五二〇
鍋取り公家	二ノ二二六	南京	三ノ五一九
鍋の煤燭では細眉作り	一ノ七四八	なむきやらちよんのうとらやく	

南無三寶	三ノ五五二	南無幽靈	二ノ三六五
南無三枚肩	一ノ二三八	なめ	一ノ六一二
南枝花始めて開く	一ノ二四九	なめすぎ	二ノ六九九
南無諸佛分身	四ノ二四六	なめ過ぎたふだうけ	三ノ三三八
南無地藏様	一ノ四七七	納屋は歌	二ノ七四七
汝月明なり	一ノ五一五	那由他	四ノ七八六
南都	四ノ四七	奈落	四ノ七七七
南都東大寺	四ノ一二	奈落の底	一ノ一七一
納戸	二ノ五九	奈落到墮す	三ノ二四四
男女破戒	一ノ五六八	奈良茶	四ノ一四三
南蠻の外科	一ノ五六五	奈良茶粥	一ノ六八七
南蠻流	三ノ一六三	奈良漬	二ノ五二八
何萬石や幾萬人	二ノ二五五	双の岡	四ノ五二六
	一ノ四六九		一ノ七四七
			三ノ三一〇
			二ノ三二二

三

奈良油煙	四ノ九六	憎い者はいけて見よ	三ノ一九三
生瓢	二ノ八〇五	二貫目近い二十兩	二ノ二〇六
成金	一ノ六八九	二三太	二ノ八〇
		二字	三ノ六五六
		二十五日	三ノ一六九
		二十五筋の琴	三ノ六〇七
贅殿	四ノ一〇三	廿五の菩薩	二ノ一六二
煮える	一ノ二六六	廿三夜一向宗は	二ノ五〇八
二月中旬にふりを献する榮花	三ノ五二九	廿三夜の代待	二ノ五二二
二月堂	四ノ五二二	二十四孝の揚香	三ノ五六六
苦々しい	一ノ二〇七	廿二社詣	三ノ一六七
二河白道	三ノ六七	錦木	一ノ二九三
握り墨	四ノ九七	錦手	二ノ六七九
憎いが餘つてふびん	一ノ四四七	西口	一ノ二四四

にし達	二〇三七四	二木石堂	二〇四〇六
西の大寺	四〇五三二	につこらし	四〇三七六
西の京	一〇二八一	日親様の御門	一〇四〇七
西の宮	二〇二九三	日天御照覽	三〇一三一
西八條	三〇三七三	日本五常の寶	二〇三一一
二十八部衆	二〇三三八	煮ても焼いても	二〇五四五
爾時無盡意菩薩	二〇三三三	二挺の弓	四〇六〇〇
二首の辭世	三〇七九三	二天四天	四〇六八二
二千里の外故人の心	三〇六〇八	新口村	二〇六一七
二足を小判一兩	一〇三二一	庭錢	一〇六七四
二足三文	一〇七六六	涼	四〇五一五
にも	一〇五七七	雞合	一〇五五九
二重賣二重判	一〇四〇一	雞餅	四〇四三五
日光山	二〇二二三	二ばんばへ	三〇七二九

日本紀	三〇三〇三	人脈筋	三〇二四五
鵜の湖	四〇五五	若市王子	三〇四六五
日本のがつかい	四〇二六八	にやこい	一〇六二五
匂ひ墨	四〇一〇	如意觀音	四〇七五
二ぶつの間	三〇四〇二	如意満足	二〇六五
二歩では高砂野之宮	一〇六七四	鏡鉢	三〇五七七
にべもない	二〇七六五	女御	一〇六二〇
人界は一生造惡の娑婆世界	一〇六五一	女子の島	三〇四五一
人界の一年は蓬萊の一日	二〇二〇七	女三の宮	四〇三三二
人間の念慮限りなく	一〇五三二	女孀	四〇七九四
人間萬事塞翁が馬	四〇二四六	女人成佛提婆品	三〇五二二
人參	二〇五五四	女人堂	一〇五九一
仁德帝	三〇一七〇	女人地獄師能斷佛種	二〇二八一
忍辱慈悲の利劍	二〇二三三	如法	二〇四九一

篋	四ノ六四六	野田	二ノ七九九
能因法師	四ノ七二九	後の葵	二ノ三二七
能化指南	三ノ三七四	祝詞	三ノ四六六
野江か飛田	二ノ三四七	咽のくさり	一ノ二三四
退ぬ身の上	一ノ二〇二	咽元過ぐれば熱さを忘るゝ	三ノ四九七
軒の下の長持	三ノ一七八	咽より劔を吐く	二ノ六二四
軒端の松	二ノ三二一	野々宮	二ノ三三一
鋸商ひ	一ノ三七五	信國	一ノ一九一
野崎の開帳	三ノ六四六	の太い者	一ノ六二八
野崎祭り	三ノ六四三	のべ	一ノ三三一
のさばり上る	二ノ三四七	野邊とてあなたの	三ノ三二〇
のさもの	二ノ三〇五	のぼす	一ノ五二四
鬘斗目	二ノ六二三	のぼりや	一ノ三三六
野出頭	三ノ七二七	のんこ髪	二ノ七四九

のむこらし	三ノ六四七	沛艾	三ノ六五五
のめく	二ノ三三八	梅花の油	三ノ六八五
飲や歌へや一寸前は暗の夜	一ノ六八三	はいで	二ノ四四九
のめる	四ノ三八一	灰猫	二ノ五四六
野遊山	二ノ三〇五	俳優	二ノ三〇四
のら	一ノ一八三	はうかい	四ノ七四
のらつぼ	三ノ七六九	判官最負の世の中	三ノ七七五
のらかはく	四ノ三二四	放生	四ノ四〇
乗懸の客	一ノ七二四	傍若無人	一ノ二一〇
乗衆	一ノ七二八	坊主持	三ノ六四六
乗手は氏神	一ノ五〇二	坊主もどき	四ノ一四五
		寶鐸	二ノ一九六
		房の津	三ノ一三七
		方々して	二ノ三七六

[は]

はあうすくすあせ

四ノ四七八

方々に張紙して	一ノ三三七	白のふう	三ノ一六八
炮烙頭巾	一ノ二二五	破軍	二ノ四〇〇
はえぬきの念者	一ノ四七七	破軍が直つた	四ノ四三八
鼻紙袋	一ノ三三七	麥門冬	三ノ七八
はかせ	二ノ三六三	莫耶	四ノ二三六
袴いらす長羽織	四ノ三三三	莫耶の劔	三ノ六〇一
はかりくじら	一ノ一六〇	はくらう町	一ノ二六四
萩	三ノ四四八	白鷺は塵土の穢れを禁せず	四ノ一六六
萩の戸	四ノ七六八	刷毛の彌五郎皆米の善兵衛	三ノ六四六
萩焼	二ノ七二一	箱崎の松	三ノ六〇八
白	二ノ六七六	箱枕	一ノ五三二
博雅の三位	四ノ五〇	斐吟流は珍しからず	三ノ六一七
はく人	一ノ二二五	狭箱	四ノ三三五
縛の繩	一ノ五八八	橋を四つ	二ノ一五六

はじかい	三ノ四五三	はすは	二ノ五九〇
はじかみ	三ノ七八六	長谷部雲谷	三ノ二六四
弾き	三ノ六〇八	馬麩	四ノ六七七
橋の名さへも梅櫻	二ノ七四七	裸一步	一ノ四四三
橋のいよこの	二ノ四八八	裸百匹	一ノ六三一
橋姫	四ノ一四	島山左京	二ノ四一五
橋本	一ノ二七二	旅籠が六かたけ	一ノ五二二
馬借	一ノ四八三	旅籠屋	一ノ二二八
ばしやれ	二ノ五八〇	はだせ馬	二ノ三三九
走り	三ノ五三六	はたゝ神	二ノ五四〇
走り	三ノ五三三	幡天蓋	三ノ二二七
走り書謠の本は近衛流	二ノ七九六	畑六郎左衛門	二ノ三三四
走りこぎり	四ノ一八〇	八寒	四ノ二三〇
走り過ぎ	一ノ一三九	八寒地獄	一ノ五〇三
走り者	一ノ四一四		

花の下	四ノ三二九	破風	四ノ七七二
花人親王	一ノ四三三	法印	四ノ三八一
花髻と	三ノ一八八	法界	三ノ二五〇
花紫を戴く	四ノ七八一	法界の男	一ノ三七四
花屋植木屋	二ノ六七四	法男格氣	一ノ二六六
花よ紅葉と戦ふ	四ノ二〇〇	はぶくら	四ノ一九
けなるや	一ノ四五三	法性の理體	四ノ四五五
はね馬	三ノ二五四	法藏比丘	三ノ六七四
羽かはす	一ノ六六二	法隆寺	二ノ一七四
は	一ノ二五一	祝子宮奴	二ノ七〇五
は	四ノ一八二	濱	一ノ三八九
母の刀自	三ノ七六一	始能く氣を吐て樓臺をなす	三ノ五四七
は	二ノ一一	濱せり	一ノ六二九
は	四ノ一二二	はまつた	三ノ二五九

濱納屋	二ノ六八二	反魂香	三ノ三四五
濱に立	二ノ六四六	はんごん樹	二ノ二八三
濱の納屋の影	一ノ四三三	萬事を夢	三ノ六四六
濱の真砂	二ノ六四	盤歩を平調に	四ノ四四
濱床	四ノ八三	半鐘	三ノ七九一
はみだし	一ノ一八二	盤上	二ノ三九〇
食出し罎	一ノ六〇六	半しやうぞく	二ノ四六七
ばん	一ノ七三〇	萬乗の位	三ノ三八一
潘安仁の母方甥	四ノ七六七	番匠の棟梁	三ノ五二六
樊噲張良	三ノ二九三	番匠箱	二ノ六三
樊噲流は珍しからず	二ノ七四九	半四郎	二ノ六八
般遊	三ノ三八〇	はんぞう	三ノ一八一
半九郎お染	四ノ二六八	坂東聲	四ノ一〇五
半夏生	三ノ一八一	般若坂	四ノ六四三
	四ノ三八九		二ノ二七

花の下	四ノ三二九	破風	四ノ七七二
花人親王	一ノ四三二	法印	四ノ三八一
花髻と	三ノ一八八	法界	三ノ二五〇
花紫を戴く	四ノ七八一	法界の男	一ノ三七四
花屋植木屋	二ノ六七四	法男格氣	一ノ二六六
花よ紅葉と戦ふ	四ノ二〇〇	はぶくら	四ノ一九
けなるや	一ノ四五三	法性の理體	四ノ四五五
はね馬	三ノ二五四	法藏比丘	三ノ六七四
羽かはす	一ノ六六二	法隆寺	二ノ一七四
は	一ノ二五一	祝子宮奴	二ノ七〇五
は	四ノ一八二	濱	一ノ三八九
母の刀自	三ノ七六一	蛤能く氣を吐て樓臺をなす	三ノ五四七
は	二ノ二	濱せり	一ノ六二九
は	四ノ一二二	はまつた	三ノ二五九

濱納屋	二ノ六八二	反魂香	三ノ三四五
濱に立	二ノ六四六	はんごん樹	二ノ二八三
濱の納屋の影	一ノ四三三	萬事を夢	三ノ六四六
濱の眞砂	二ノ六四	盤陟を平調に	四ノ四四
濱床	四ノ八三	半鐘	三ノ七九一
はみだし	一ノ一八二	盤上	二ノ三九〇
食出し鏝	一ノ六〇六	半しやうぞく	二ノ四六七
ばん	一ノ七三〇	萬乗の位	三ノ三八一
潘安仁の母方甥	四ノ七六七	番匠の棟梁	三ノ五二六
樊噲張良	三ノ二九三	番匠箱	二ノ六三
樊噲流は珍しからず	二ノ七四九	半四郎	二ノ六八
般還	三ノ三八〇	はんぞう	三ノ一八一
半九郎お染	四ノ二六八	坂東聲	四ノ一〇五
半夏生	三ノ一八一	般若坂	四ノ六四三
	四ノ三八九		二ノ二二七

晩のじあひ	二ノ五七六	腹筋	四ノ七七四
花は三吉野人は武士	四ノ六一	波羅僧揭諦	一ノ五七〇
ばんく	三ノ二二三	腹の立つきほひ口	一ノ一九五
はん櫃	三ノ二四六	波羅密多	四ノ五一九
半ぶ	四ノ八四五	波羅門王	三ノ四三七
范蠡が越	三ノ五二五	はらや麻疹	一ノ四八九
齒も立ぬ	一ノ一九九	針立	二ノ六六一
乃物の相性	一ノ二〇〇	磔	一ノ二三五
早追ひ	一ノ五〇三	春を重ねし雛男	一ノ三三八
早川はつせ	二ノ	春をもつて	四ノ三三二
早やとくにけらし	二ノ五九九	春知り顔に七つ屋の	一ノ六六四
腹を借さぬ母	三ノ一三六	春過ぎて夏來にけらし白旗	二ノ六一
原郷右衛門	二ノ三七五	春に育つも花誘ふ	一ノ七二〇
腹がはり	一ノ一九四	春の夜の夢驚す	一ノ二七六

春は東	二ノ六三	檜桓作り	一ノ七二八
はれいのは	二ノ六五	日かげの師匠	三ノ二八二

[ひ]

ひあぶり	一ノ二八九	東塞り	一ノ二〇七
火打箱	三ノ二八一	ひかしやか	四ノ八二二
冷にも熱氣にも	一ノ四二八	ひかしやかぶる	三ノ七五
火桶	一ノ二五一	檜皮屋	四ノ九七
火を改へる	二ノ五七二	ひがく	二ノ二七二
緋威	四ノ一三七	ひかへ網	二ノ五九九
緋威の腹巻	二ノ三三三	ひがます	四ノ七九七
非業	二ノ四七二	彼岸	三ノ一四七
火斗	一ノ四〇四	ひがやすな	三ノ一八七
		光源氏	四ノ二七六
		光源氏の鏡の面影	三ノ一五

引負ひ	三ノ六七二	ひける	四ノ三三二
飛脚	一ノ一九〇	日頃程にもない	四ノ三三六
引出物	一ノ一八三	久方	一ノ三二五
引しめて	二ノ六三一	提子の水は	一ノ二二一
ひき日	一ノ四三〇	膝の皿	一ノ四〇四
引舟	一ノ二四八	ひし	四ノ八二二
飛脚宿	二ノ六一四	ひじき	二ノ八五
びくにん	一ノ六二九	秘事は睫毛	四ノ五六九
檜隈	四ノ九一	毘首羯磨	二ノ七〇九
ひけ	一ノ四二六	翡翠	三ノ二二四
髭籠	四ノ八四五	美精好の大口	三ノ三八七
彌猴が帝釋天を嘲る	四ノ七四六	備前の守	四ノ九七
ひこづる	一ノ六七八	ひそうひゝそり	四ノ一六三
非言	二ノ二一六		

乾反り	二ノ五〇六	日嗣	二ノ二〇四
額にしがの小波	二ノ三五八	人買	三ノ一三六
直甲	二ノ七八	ひつこき髪之二つをり	二ノ一五六
一向	一ノ五九一	人ごと言はゞ筵敷け	一ノ三九四
常陸の律師	二ノ七九	一こぶし	三ノ七三〇
敏達の子	四ノ八〇	人静つて清漪は沈み	二ノ三九九
飛彈掾	一ノ四二〇	未の歩	二ノ四一七
額たれ	一ノ三九一	ひつしよなく	一ノ五八二
左繩	一ノ五二四	逼塞	四ノ三六二
常陸帯	三ノ四九〇	備中鉄	三ノ五四六
額に毛貫もあてるもの	二ノ五六六	ひづめ	三ノ六九三
左扇	三ノ四七三	人礫	三ノ三七四
左繩	三ノ一七七	一つ穴の狐	四ノ三五九
美女と變じ	四ノ四八一	一つ所ところ	三ノ七六二

一つとや	二ノ五三二	一蔵あがらう	一ノ二四七
一つ根節の二股竹	三ノ一七五	人魂	一ノ三五七
二飛梅田橋	二ノ七九七	一つ逆	一ノ三五六
人の意見も馬の耳	一ノ四三五	人でなし	一ノ三八一
人の振見て我振の	四ノ五七五	人の父として慈にといまり	一ノ七〇五
二引が千僧供養	四ノ七六〇	人は一代名は末代	二ノ七五
一ふり	三ノ七四四	人目しぼり	二ノ九五
一廻り上の酉	四ノ五七七	獨り武者	一ノ二八〇
一よぎり	二ノ五九八	火繩	一ノ四二一
人呼ぶ片手	一ノ四九三	非に落る	三ノ一九六
一人腹	二ノ四九四	非人	一ノ三四六
一人武者	四ノ七七一	ひねくろし	二ノ七六〇
一足づゝに消えて行く	一ノ三五三	日の足	一ノ一八六
人賣	一ノ二二一	非の入そうな	三ノ一七三
			一ノ一九四

ひの上の切荒布	一ノ一八九	頻伽の聲	三ノ五二九
火の車	四ノ六三	備後橋	二ノ四九一
日の御座の寶劍	二ノ二一九	びんざさら	二ノ四六三
脾の臑つよき大音	四ノ八六五	ひんすの命	二ノ二四六
緋の袴	三ノ三〇六	鬢づら	三ノ六〇八
火の札打つ	一ノ二七三	ひんとせ	二ノ三六
樋の俎板	二ノ八〇二	貧な世帯の暇なしで	一ノ一八七
火の病	三ノ四六三	貧の病	三ノ二三〇
琵琶琴竹	二ノ一九三	ひんまとい	四ノ一八
雲雀毛	四ノ二九五	鬢水	二ノ八六
日文血文	一ノ二二三	鬢水入	二ノ六二六
日ませ	三ノ七二七	姫君	一ノ四三三
火廻し	一ノ三八八	姫御前	一ノ四八七
びんかゝみ	四ノ一七四	姫宮にたをされた	二ノ三二六

槍物屋	四ノ九八	百饌百味	三ノ四六六
微妙の橋	一ノ五九〇	百日法華	三ノ六八三
拍子が直る	二ノ六二九	百の口を抜いて置く	一ノ五六八
拍子木の調子金	二ノ三九九	百八煩惱	一ノ七四七
兵杖	四ノ二一	百八の玉の緒	二ノ七九七
瓢箪町	一ノ二四四	百萬遍	三ノ七七六
砂目	四ノ九一	百里來た道は百里歸る	一ノ六四三
白毫	四ノ五一四	百兩あし	三ノ一一九
百貫町	二ノ四九四	百鍊の雷	二ノ二八一
百間堀	二ノ四九〇	火屋へ片足	二ノ四三三
百五十兩か八貫目	二ノ四三三	火ようじ	三ノ二九三
百濟國より普賢文珠	二ノ三二〇	比翼煙管	二ノ六五二
百丈の木に登つて一丈の枝より落る	二ノ三九四	比翼の誓紙	二ノ七七六
		比翼の羽子板	一ノ六六二

比翼連理	三ノ二二六	蛭巻	四ノ四四五
ひよんな事	一ノ二六七	鱒	二ノ五三八
比良	二ノ三二〇	領巾鹿山	三ノ五六二
平	三ノ三二〇	披露	一ノ三四〇
ひらぎ	三ノ一四五	廣澤	二ノ三三〇
ひらぎの長	四ノ八〇九	廣澤の波逆巻上り	二ノ三三三
びらくら	一ノ四五二		
平野	二ノ六五四		
平の尾	二ノ三二七		
平野町の大神宮	三ノ一七二		
びり	四ノ八六五		
蛭小島の悴	三ノ三九八		
晝餉	二ノ六五		
晝當番	三ノ七二八		

武衛	四ノ二三四
楓樂良訓信女	三ノ七八九
風流陣	三ノ五二七
富貴草	二ノ二八三
ぶい	三ノ六五三
布衣	二ノ三三一
ふい	三ノ六五三
廣澤	二ノ三三〇
廣澤の波逆巻上り	二ノ三三三
鱒	二ノ五三八
領巾鹿山	三ノ五六二
披露	一ノ三四〇
廣澤	二ノ三三〇
廣澤の波逆巻上り	二ノ三三三
蛭巻	四ノ四四五

笛のひしぎ	二ノ二〇五	福徳縁起	一ノ七四八
深編笠	二ノ六七九	福徳の三方論議	一ノ七二八
舞樂	二ノ二二四	覆輪	四ノ二九五
不覺人	四ノ七七九	文車	四ノ八一
不覺の涙	一ノ四〇七	茯苓	三ノ七八
深き濡れ	二ノ四三八	分限者	一ノ二四七
深田に馬を駈落し	一ノ六八九	普賢力	四ノ一四一
不合點	一ノ二三五	節を付けた歌	一ノ一四八
ふがいない	一ノ一三八	塞りの此國	三ノ一三五
深見草	二ノ六七六	房前	四ノ四九六
落の姑	四ノ二九六	房様の灰寄	一ノ三八八
不興	一ノ三七六	無沙汰	四ノ一五〇
福島	二ノ四九〇	伏濱	三ノ四九三
福壽海無量	三ノ六二四	不羨	一ノ四五五

伏見の雪	三ノ三八二	不動の縁日	四ノ六六二
伏見橋	二ノ四九〇	不動の刃	二ノ五六九
ふしなやみのだきかゝへ	二ノ六六三	不動参り	二ノ六二七
富士の人穴に入り	四ノ七四二	札買やる錢	一ノ三七〇
伏見坂	二ノ六七七	二つ井戸	二ノ五三五
ふしよ	四ノ一四二	二つ違ひのつま琴	四ノ七
ふすべる	三ノ一七六	二葉に見せて梅檀女	三ノ六〇七
布施	三ノ二二九	二見浦	二ノ八五
ぶせい	一ノ二八二	補陀落や	三ノ三四七
ぶせう	三ノ三二三	補陀落や大江の岸に打つ波	一ノ三二四
浮線綾	一ノ五二五	二人目の髯	一ノ三七六
札	二ノ六四八	藤	一ノ二八〇
不退轉	三ノ四二五	藤井寺	二ノ六五四
不動坂	一ノ五五五	藤氏の御方	二ノ二〇四
	一ノ五四八		

藤川武左衛門	一ノ二二五	不調法	一ノ一九五
無馳走	三ノ七三八	ふでき千萬	一ノ三三五
藤白	三ノ四二〇	筆ゆい	四ノ九六
藤田村のお道場	二ノ六五九	筆も夏毛の	四ノ六三六
藤の色かたげたお山	三ノ二八四	不届	一ノ三三五
藤の棚	一ノ三二六	舟遊び	二ノ四八六
藤の前	三ノ四七九	舟入橋	二ノ七九八
淨中沈	三ノ四八六	舟岡	三ノ三三二
不定	二ノ七二七	船玉神	三ノ六〇五
佛事供養	一ノ一七四	舟端にさざを付て刀を尋ねる	四ノ八四
佛神水波	一ノ三三八	歩に首をさげらるゝ	一ノ六九一
佛性とうたい	二ノ三五八	船を出しやらば	一ノ七二七
ぶつちやうがほ	一ノ二二四	船の屋形	二ノ四八八
佛日西天に隠れ	四ノ一九四	船は新造の乗り心	三ノ六四二

不破の伴左衛門	三ノ二六三	分量	一ノ七七四
ふびん	一ノ一六二	文王は姜里に囚はれ	二ノ九三
ふい	三ノ六四六	文和三年	二ノ三九七
不返事	一ノ三九六	普門品	四ノ七三〇
文の使を	二ノ二八八	冬は北にて	二ノ六三
文龜	三ノ二五五	不落居	二ノ四四〇
文庫の蓋に梓弓	三ノ二二三	ふらすこ	四ノ八四五
文左源五左	一ノ四七一	不埒	二ノ六一五
文史の學	四ノ八一	振かつめ	三ノ二三八
文藏	三ノ七一	ぶりしやり	二ノ二九八
分立	三ノ二三〇	振袖なりとつめなりと	一ノ四九一
文治五年	二ノ六〇	ふりはり	一ノ五〇六
ぶんばり	四ノ三五五	降りみ降らすみ	四ノ一三九
分別次第にさあんせ	一ノ二〇九	不慮の死	三ノ二二四

不慮の横死	三ノ七一五	風呂屋	一ノ二七〇
振分髪	二ノ二二二	[へ]	
ふる	二ノ五八四	平城天皇の孫玉	二ノ二七三
古河野邊	二ノ一七四	屏重門	四ノ一七四
古き都	四ノ五二二	平治の亂	三ノ四六九
古き都や難波瀉	三ノ一六七	閉門	一ノ二四一
古郡	二ノ三三九	瓢箪	二ノ七三二
布留の社	四ノ五二八	べうのゆもと	四ノ一八一
振舞	一ノ二四六	べかこ	一ノ二二二
古身	一ノ二八三	べかこのちやのみや	三ノ一七
ふるや小袖がぬれるる	二ノ二七三	汨羅に沈む	四ノ二三七
ふれ	四ノ四一九	平群谷	三ノ三三三
風呂	三ノ三三九	べたくした取なり	二ノ六四八
風呂の煙	三ノ一六八		

へつる銀	三ノ六二二	遍明院	一ノ三二六
便宜	三ノ一八〇	部屋住	一ノ二三九
卍和が三度足切られ	四ノ二六三	べり立つ	三ノ七一
辨慶や金平	一ノ四七四	べろく	二ノ一〇四
辨慶やりて	三ノ三〇六	[ほ]	
變がい	二ノ五〇〇	ほいやり	三ノ七七六
辯がら島	一ノ七七六	報恩講	一ノ四五一
邊國	三ノ五二二	寶磬	四ノ一四二
辨財天	二ノ七三二	鳳闕	四ノ四六七
偏執	二ノ一〇三	豊國々師	四ノ一四二
變生男子の願を立	三ノ七一四	ほうご棚	一ノ五五四
辨當合子	三ノ四七三	棒鞘の一腰	一ノ一九一
邊土	二ノ二四三	袈似	三ノ六一七
變毒爲藥	四ノ一八八		

寶祚百王の固め	四ノ二二二	北京の都	三ノ五二七
ほうだより	四ノ三五七	法華經とも念佛とも	一ノ二〇四
棒乳切木	一ノ五一六	北國路	三ノ四六三
寶鐸	四ノ七七七	北國へ軍立	二ノ三三一
ほうとくわを抜かし	三ノ五六五	北狄	三ノ五二二
棒に逢はぬ	四ノ五八六	北斗	一ノ三五四
朋輩	一ノ三四五	北面	二ノ三一九
ほうはつら	二ノ三五七	反古紙帳	二ノ三五二
謀判	一ノ三三八	菩薩の來迎	三ノ一四
望夫山	三ノ五六二	星月夜	二ノ三七五
蓬萊	一ノ六〇八	細谷川の丸木橋	一ノ五五四
蓬萊山	二ノ二四六	細引綱	一ノ七七九
蓬萊の島田氏	三ノ七四九	菩提	一ノ一七二
ほからかす	一ノ五八二	菩提心	二ノ四三八

菩提の縁はさまく	三ノ二二九	ほてつばら	一ノ五〇五
菩提門無明門	三ノ五八五	ほでてんがう	一ノ四九五
ほたへる	三ノ一八二	ほでてむがうかはく	四ノ七八二
ほつき	二ノ五〇一	ぼてふり	三ノ四一七
發起	二ノ五七〇	杜鵑	三ノ七八五
ほつく	一ノ三六八	杜鵑じやが父に似て	一ノ七二三
法華寺	二ノ一七五	佛	一ノ七四六
法華長屋	二ノ五七三	佛といつば何物が佛	二ノ三六一
發心の因縁	三ノ一二七	佛とも法とも	二ノ四七二
ほつても	二ノ一〇三	佛に受けられず	二ノ五七六
ぼつとりもの	三ノ一一三	佛の顔も三度	二ノ六二八
ほつれ	一ノ一八五	佛の三十二相	一ノ六五〇
ほてがくねる	三ノ四二三	佛の母	一ノ五八九
ほてくろし	三ノ九六	佛も我も十九歳	四ノ七九三

ほどく	一ノ三三九	本道	一ノ二五一
穂長	一ノ六〇九	本陣	一ノ五一六
帆柱立	二ノ二三二	本天満町	三ノ六四六
頼がまち	一ノ六七八	盆と正月	一ノ三三〇
本阿彌	四ノ二四〇	ほんとう町	一ノ二〇三
本有の毘盧遮那	四ノ七二	本繩	四ノ三五五
梵音聲	四ノ一四二	煩惱菩提	一ノ四二二
ほんか	一ノ三四五	ほんのくぼ	一ノ五〇三
本封還り	四ノ四七〇	本の子	一ノ四四八
本封師の封	三ノ五五七	凡夫心	一ノ二六二
本國の海	四ノ一四二	ほんぼり綿	一ノ一八六
本小室	一ノ四九七	本町橋	二ノ四八六
梵釋二天	二ノ四七五	梵網經	二ノ三二五
ぼんじやり咲いて匂ふた	四ノ二四三	盆も正月も一時	四ノ三七六

夜詞	三ノ一一	まかなひ	二ノ五七〇
堀居彌五郎	二ノ三七五	麻訶般若波羅密	二ノ二七六
堀井彌惣	二ノ四〇一	ほがほ	一ノ一九二
堀江	四ノ七八一	まがくしい	三ノ七〇二
堀川	二ノ七九八	麻阿曼陀羅華	三ノ一三
堀河のゑびす	三ノ一七〇	榎の島	一ノ二七八
ほろゝの聲	三ノ二七四	榎の戸	一ノ三五二
		卷舌	四ノ二二七
		まぎら	一ノ三九九
		まくし出す	二ノ二五二
		真葛原	二ノ三三一
		枕槍	三ノ二七五
		枕をたゝむ夢たゝむ	三ノ六〇七
		枕がへし	三ノ二九八

[ま]

ま一度起る	二ノ七一三
間を渡す	一ノ三八一
真芋を續む	二ノ七八三
まかせておける	四ノ四二〇
	三ノ三六〇

まくら出し	一ノ三三三	ますらを	三ノ九
枕づけの供物	四ノ六六	ませ	一ノ五二七
枕の伽	一ノ四九一	股がさがふ	一ノ四九四
摩醯首羅	四ノ八六	まだ寝ぬ火影	一ノ三五四
曲げる	二ノ七八二	まだふみも見る	二ノ三三六
馬子	二ノ六二九	またもの	一ノ四七〇
まさきのかづら青葛	四ノ四三	待上臈	四ノ七九七
まさしかれ	一ノ七七八	町衆の加判	四ノ三三一
まさるめでたき	二ノ二〇八	町衆へも断り	一ノ三三七
まじやうもの	一ノ六二八	町で名古屋の胸高帯	三ノ六四四
ましよ	二ノ三〇八	町年寄	一ノ二五七
桁落し	一ノ七〇二	待ぼうけ	一ノ四一〇
十寸鏡	四ノ一六二	町廻りの状取	二ノ六一四
ますら	一ノ四三三	松尾山	二ノ一五五

まつかいさま	一ノ三四七	松唯し	四ノ二二二
まつかせこんだ	一ノ七三五	松原	一ノ四七九
松風	四ノ八四二	まつべる	一ノ四八八
待がつらいか別がつらいか	一ノ七二二	松屋町	二ノ七〇八
末期の水	一ノ四五六	待夜の鐘	三ノ三五二
まつかへさま	四ノ六六八	祭の練衆	二ノ七六六
貧しき家には故人疎く	四ノ六四五	松若縁梅時節	一ノ六六四
松高き	二ノ六三一	まどふ	三ノ四五一
松としき聞かば	二ノ二二七	まどろみ	四ノ二五九
松としきかば今歸りこん	四ノ四〇一	まなび	四ノ九八
松の尾	二ノ三二七	真似る芝居の女形	四ノ七九七
松の門立	三ノ二五八	間夫	三ノ一六八
松にも花	二ノ六一	まぶられる	一ノ一三〇
松の位	二ノ六七五	まぶる	二ノ五七七
			一ノ三八二
			四ノ三四四

まひく	二ノ二九一	萬葉集	二ノ一九四
前髪どの	一ノ一八九	豆板	一ノ三七一
前垂質に置かふ	一ノ二二七	まめしげもなきうき世	一ノ四九七
幻しや定業の限りとは	一ノ五八七	迷ひ行共松山に	二ノ七五〇
まんが直る	四ノ二二三	鞠垣の大綱	四ノ二八六
満願	四ノ一七〇	丸い續桶に角の蓋	三ノ一七五
萬歳傾城	一ノ六一四	眞澄の鏡	四ノ九七
蝮蛇の針	二ノ二二四		
萬僧供養	一ノ六五四		
蔓陀羅	一ノ四二二		
萬燈院	一ノ三三七		
萬燈會	二ノ一九六		
萬年草	一ノ五九二		
まんま	一ノ一九四		

【み】

身を賣る品	一ノ一八五	三熊野本地の三尊	三ノ三五三
身を捨る簀	一ノ四二二	御車の五緒	二ノ三一八
浴標	二ノ六一三	見越入道	三ノ三八七
身をもがく	一ノ四〇五	御子町	三ノ一七三
身をやつす	一ノ一六三	御さき拔	三ノ二二四
みかきもり	二ノ七三二	三澤治部右衛門	三ノ八
御影石	三ノ二九一	みさむらひ	四ノ三九
三笠山	二ノ二二四	未生以前	一ノ四九四
三笠城右衛門	一ノ二二四	みしらした	一ノ一六九
瓶の原	四ノ二九七	身すがら	二ノ七五二
三木とつらねし言の葉	三ノ二六一	身過ぎ程	一ノ二〇一
みぎり	二ノ二六一	三筋町	二ノ六一三
御首	二ノ一〇〇	店さし時	一ノ二〇二
三熊野	二ノ二八九	見世女郎	二ノ六三一

見世女郎のあさまし	二ノ六三四
店のつるし	三ノ七七七
見せは弟子に打ち任せ鞘鳴りする	
ぞ	一ノ一八二
溝萩	二ノ六〇五
笑酒霞酒	三ノ三五二
御臺	一ノ一三四
御臺所か姫君	四ノ三三四
みだけ絲	三ノ二二二
見たし憂身の	二ノ七九六
彌陀の名號	二ノ五八四
彌陀の利劍	一ノ六五一
身だまんじりともせない	一ノ七二九
みたらし川	二ノ三二一

亂れ心	一ノ二二二
亂れて失る	三ノ二三六
道さうに	三ノ一一五
水浅き淀の若菰	三ノ四六〇
水入らず	三ノ二四八
三つ金輪	三ノ一八五
水木辰之助	四ノ一四
御調物	三ノ八
みづく	三ノ五二一
三つ櫛	三ノ五〇五
水汲み	四ノ九八
水車	二ノ四八八
水子	一ノ二七六
水盃	三ノ五二四
	三ノ七六六

水施餓鬼	三ノ一四八
三瀬川	二ノ一六二
三瀬川連ね給ひし松が枝	二ノ二八七
三つ地五つ地一せい	四ノ八五七
水茶屋	一ノ四三八
密通不義	四ノ三三八
三つづゝ十と三つの里	一ノ三二一
水と火との相性	一ノ二六一
みつの難波の里	一ノ二四三
三津八幡	三ノ一七〇
水離れせぬ	三ノ一六八
三つ羽の征矢	一ノ六七四
水ぶき	三ノ七八六
瑞穂國	四ノ八一

水間の里	二ノ四二七
水も吞れぬ	一ノ三六九
三つ山の争ひ	四ノ六五三
水牢	一ノ四九六
三輪組む	四ノ五八
水口鮫	一ノ四七八
南谷	一ノ五四八
水無月	二ノ三二九
南の茶屋	一ノ三六八
南堀江	二ノ五八四
皆一同に聲を揚げ	四ノ一六〇
南の風呂の浴衣	二ノ七四七
源は酒れて	三ノ三九九
身に金が入る	三ノ一五三

身にしゃみ川	一ノ三四一	耳塚	一ノ三二一
身には繩口には綿の轡をはめ	四ノ八六四	御室山	四ノ五三三
身にも及ばぬ戀をさへ	四ノ八五九	みめでもなし	一ノ四五二
峯の薬師	三ノ四四六	身も懐るも冷る夜に	二ノ六三八
身の熱さ	一ノ二五三	宮	二ノ七七〇
箕面	二ノ二九三	冥加	一ノ三二七
巳の上刻	一ノ四七一	妙覺	四ノ八七
御法の水	一ノ四一六	冥加錢	一ノ四三九
三原重太夫	二ノ四九一	明星	一ノ四六二
三原の合口	二ノ五一六	妙諦	二ノ一七六
壬生大念佛	二ノ一〇	妙法蓮華經觀世音菩薩普門品第二	二ノ五八
三重の帯	一ノ七二二	十五	四ノ四四一
三保の谷が	二ノ七四七	妙法蓮華經	四ノ七九四
耳打	二ノ六三八	名聞離れし御遁世	

都詰	一ノ六九二	無息力	一ノ六七九
都の面打	二ノ一一	無縁の佛	三ノ一一〇
御息所	四ノ一七三	向ひ通るは清十郎じやないか	二ノ四六六
宮津	四ノ三七八	昔男	二ノ三三〇
御湯	四ノ一七五	昔男ありけり	二ノ二五九
身より出たる錆	一ノ一四二	昔唐土の白樂天	三ノ六〇六
未來成佛	一ノ三六二	昔の京の八重櫻	一ノ二八〇
みるめ	二ノ八四	昔在靈山	三ノ六四三
視目嗅鼻	四ノ八五五	むかぬ	三ノ一六八
彌勒	一ノ五五五	行籐	四ノ六三七
見渡せば松の葉白き石橋山	三ノ四六九	むかはり	三ノ二四〇
三輪の素麵	一ノ二八〇	向ふの二階	一ノ三五四
		麥飯で鯉を釣る	二ノ二一〇
		向原	四ノ八八

[む]

むくりこくり	四ノ一七六	むざん	二ノ六五六
木樂子も研けば	一ノ六六二	むし	四ノ一四五
むくろばら	四ノ一四九	むしこ	三ノ二〇二
無下	一ノ三八四	蟲がさいて	四ノ四四五
無間	二ノ六〇三	無常	一ノ二〇七
無間奈落	四ノ六三	むしやぶりつく	三ノ二四九
無間の鐘	一ノ七四五	無心	三ノ一三四
無間の釜いり	一ノ七四七	蕙庇	一ノ三八四
むごい人	一ノ一七〇	結び松、棧欄の相生	三ノ七六八
無功	三ノ四三二	結ぶの神	一ノ三五八
むごう有	一ノ二二三	無體に	一ノ六七五
聲引出	二ノ七二四	むづかり	一ノ三三九
むさいしおるな	一ノ一六七	睦言	一ノ四七二
むさゝび	四ノ四二	六つの巷	二ノ四六七
			一ノ四六三

六つ武藏

無得心	三ノ五〇七	叢消	三ノ四七三
むな木を負ふの柱	二ノ四四九	むらごう	二ノ六一
むなづはらしく	二ノ六五	紫	一ノ六六四
無二の中	二ノ六六三	紫帽子	二ノ四八七
胸を冷する玉水	二ノ一九八	紫の冠	四ノ四六六
むのじ	二ノ二一八	紫のゆかり求めて仕若	三ノ五〇七
無佛世界	四ノ七三三	村雨の露も	二ノ一六二
むへもとみけり	二ノ一七六	無量劫	二ノ七三三
謀叛	二ノ六三	むろ	三ノ七三五
無紋の色	三ノ五三一	室君	四ノ一五四
無明	三ノ三三七	室の女郎	二ノ四四三
無明の酒	一ノ三二七	無漏無生	四ノ七一
村上竹之丞	三ノ二四九		
	二ノ七三二		
	一ノ二二四		

【め】

明月記	二〇一九四	目かどのつよい人	四〇三七四
明月地に墜す、白日度を失はず	二〇二二〇	目川村	一〇四九九
明德の神樂	二〇二二三	目がまふ	一〇三七六
冥途	三〇二四七	めかりを利かせ	一〇六四四
冥途の友	二〇七三一	目くさり銀	四〇三八二
冥土の鳥	四〇七二八	めくばせ	二〇六二八
名物の道具	二〇二五九	盲目打	三〇二三〇
名木	二〇六六四	めぐる	一〇六二八
めいよなこと	四〇三七七	めざし	二〇八五
めいる	二〇七五八	目覺草	四〇二二三
明王	二〇二二六	食	三〇七三五
夫婦塚	二〇二九二	目代	二〇五六二
女夫池	二〇四五二	目せき笠	四〇五六三
女敵	三〇九三	めつかう	一〇四三二
			二〇七〇四

めつきやく	三〇七〇七	緋蠻たる黄鳥丘隅にとゞまる	三〇五四五
めつきり	二〇一八二	目もくれなるの	一〇二三六
めつたに	一〇一五二	目安	四〇三三一
目出たいを三枚におろし	三〇七二八		
めでたく	四〇三三三		
めなど	四〇三三〇	燃杭には火がつきよい	一〇一四二
目の鞘はずす	三〇三〇七	儲の君	二〇三三〇
めのと	四〇三九一	妄語戒	二〇一四六
目はぢき	二〇一五八	妄執	二〇六〇四
目ませ	二〇四二七	もがり	一〇二二一
面をぬぐ	二〇一九四	もがりごと	一〇三七九
面向不脊の玉	二〇六三五	木香	一〇一八八
面倒見合ふ	四〇四五一	木櫛	三〇七八
めんないちどり	一〇一九六	木馬	二〇六七六
	二〇六七〇		四〇八二一

【も】

目禮	三ノ二八二	餅屋のお福	三ノ三二五
もさ	三ノ六五三	もつけ	三ノ六六七
緞子	二ノ四三八	物體	三ノ五八八
藻鹽草	二ノ四八九	もどかしい	三ノ四五七
門司が關	一ノ七二七	もどく	一ノ六四〇
もじひらなか	一ノ三三一	求塚	二ノ五三九
もじやくじや	一ノ二五六	戻り橋	四ノ七八一
もだく	一ノ三九七	藻に住む蟲	二ノ二八五
餅飯殿	二ノ一三〇	物作り	二ノ四三〇
望月	一ノ二五五	物仕	三ノ一五三
餅搗	一ノ六〇一	物しやんな	三ノ七五二
餅花	一ノ六〇一	物部大臣	四ノ八六
持丸長者	二ノ六四五	物日	三ノ三一九
もぢく	一ノ一九五	物真似	一ノ三二九

物もう	一ノ六二七	紋日遁れて顔隠し	二ノ七四七
物孟春	四ノ二一七	文盲不仁	二ノ二〇九
物真似芝居	四ノ三八〇	もんめん巾着	一ノ五〇八
もみ烏帽子	四ノ九六	桃の酒	一ノ三二八
もみふり	三ノ二三七	もらふ	二ノ六三七
もみおろす	三ノ四一	守口	一ノ二六四
文珠	一ノ五四七	盛久	二ノ三四三
文珠様かな	一ノ一六八	もり山	四ノ八三一
文珠菩薩	四ノ五一六	唐土人の褒詞	三ノ一七二
主水司	四ノ七九三	諸羽の宮	四ノ三八
もむない男	二ノ四九九	諸捨り	一ノ一八五
門のひはだ	四ノ二二三	醜	四ノ七九七
紋日	一ノ四三〇		
紋日が三日足らぬ	三ノ七〇六		

[や]

やあゑい	一ノ六〇二	薬師寺治郎左衛門	二ノ三二九
やあゝ 重共	二ノ三五五	薬師如来	一ノ二一五
やあら目出度や	四ノ二一九	薬師は東方	三ノ四八二
やいと行	二ノ五〇〇	役者評判	三ノ五二三
刃の錆は刃より出て刃を腐らす	三ノ五三六	やくたいもない	二ノ四八八
陽貴妃	三ノ五五一	厄崇り	一ノ三三五
楊貴妃の御廟大真殿	三ノ六一六	厄拂ひ	一ノ三五六
様子ある夫婦	四ノ三九九	八聲の鳥	四ノ二一八
やうでう	三ノ四〇二	やごとなき	三ノ二四四
屋形	一ノ四三三	屋財家財	三ノ二九三
野干	三ノ三四二	矢間庄司	一ノ三七二
焼鳥にへを	二ノ三九八	屋島にて功名の様子	二ノ四〇一
薬餌	二ノ一三一	夜刃	三ノ一一三
薬次	二ノ三三〇	やしやく	三ノ一七
			四ノ一四一

矢籠矢箱	四ノ四一九	やたけ心	三ノ一九
夜食	二ノ六二九	八つ	一ノ三五一
やしよめ	四ノ三七三	八束穂	四ノ四
家尻切	一ノ二二二	八裂	三ノ四九九
安居天神	三ノ一七一	やつしは甚左衛門	三ノ六五〇
やす大事	二ノ二二九	やつす	二ノ一七七
八すみ	四ノ八一	やつちや一角せしめん	一ノ七三八
やすらひ花	四ノ八〇九	やつていなそ	三ノ三二〇
八瀬大原	二ノ三二〇	八つ橋	三ノ四四六
瘦我	二ノ五〇三	宿を頼む	二ノ六二三
八十川	一ノ四七九	柳櫻をこきませて	二ノ六一
八十梟	四ノ四七三	柳の枝	二ノ六〇二
やだ	二ノ七二二	柳は緑花は紅	二ノ三六二
八咫鏡	四ノ八一	矢矧の里	三ノ四四六

矢はげ	二ノ四一三	八百屋お七	三ノ一九九
矢橋粟津	三ノ二七八	八百萬屋一文字	三ノ七八六
矢橋の船賃	一ノ四七八	山海の幸かへ	三ノ四七二
八幡	一ノ二四六	山蔭中納言	三ノ七三二
八幡六郎	二ノ三六七	山樵	四ノ四九
簀蚊の餅つき	三ノ三四二	山木の合戦	三ノ四七八
簀から坊主	二ノ二一四	山衆	一ノ二一四
簀に功の者	三ノ四九一	山寺の春の夕べ	一ノ三六七
やぶれかぶれ	二ノ二二〇	山出し	二ノ三八九
破れ車でわがわるい	三ノ一七五	大和川甚之助	二ノ九三
破ればぐわちも	一ノ七一三	大和大工飛彈工	三ノ七
八重の汐	四ノ一〇九	大和山甚左衛門	二ノ六一
八重の汐路	三ノ一三三	大和屋甚兵衛	二ノ五
やばてりがき	一ノ三六七	山鳥の尾	三ノ七
			二ノ一七二

山の芋から鰻	三ノ七三六	病ほうけ	二ノ四〇三
山の芋で足ついた	三ノ七三九	やみく	二ノ九七
大和橋	二ノ六八二	やみらみつちやの革袋	一ノ三三〇
山鳩色	三ノ四〇五	やんちや	一ノ四七二
山彦の王子	四ノ八一	彌生	三ノ七四
山姫	一ノ三三二	鎗	一ノ六〇七
山吹	四ノ二九〇	鎗願	三ノ一四
山吹の瀬	一ノ二七八	鎗鮑	四ノ二〇二
山吹の色の仕過し	二ノ二一四	やりが前垂茜さす	一ノ六六四
山猪	四ノ六三八	遣手	一ノ二四八
山又山	一ノ六七九	鎗の權三が古身の鎗	四ノ六二九
山も見えざる	一ノ四七二	鎗の權三はだてしやでござる	四ノ六〇〇
山村	二ノ四九〇	鎗の權三はだて者の	四ノ五五九
山脇三右衛門	三ノ七三一	やわら	四ノ三八一

唯心	四ノ六四	ゆしゆつ	四ノ一四一
ゆうく	三ノ三三二	揺れば落る	三ノ一七七
故つける	四ノ五二	ゆだのたゆた	二ノ二八七
湯を沸して水いらす	二ノ四四八	油断	一ノ一三四
行當る	二ノ五五七	ゆづ妻櫛	三ノ六八五
雪女	四ノ二二九	湯の尾崎の孫枚子	三ノ二五五
往かけの駄賃	一ノ五二二	湯のだんご	一ノ二二四
行先に的が立つ	二ノ七六六	指切も古い	一ノ二六五
ゆくて	四ノ五	指果報	四ノ七四六
行くもちんつ歸るもちんつ	三ノ六四四	夕霧	二ノ一四七
行も山崎歸るも山崎	二ノ六九六	夕べ晨の憂き勤	一ノ六四七
遊山所	二ノ七三二	夕べ晨の鐘の聲	一ノ六四四
		木綿四手	四ノ三二三
		ゆふせち	四ノ二五五

夕告鳥	二ノ六五一	硫黄が島	一ノ二七二
ゆふべくの我涙川	四ノ七	[よ]	
弓頭	三ノ七二七	よいお山	三ノ二八一
弓矢八幡	三ノ九七	よい加減につくすな	一ノ一六七
ゆんで	三ノ二〇六	能ふあたゝかに	三ノ三二五
夢の浮橋	二ノ五三九	ようおつしやつた	三ノ一四
夢をさまさんばくらう	一ノ三三七	ようござりまもそこく	二ノ七九一
夢か七つか	一ノ六〇七	容赦	一ノ一四二
夢路あやしき	二ノ二八二	與右衛門	三ノ三二〇
夢の夢こそあはれなれ	一ノ三五三	よき衣着たる商人	一ノ四五二
夢見	二ノ六〇五	欲天の阿修羅王	四ノ一〇三
湯元	三ノ三四七	よくわかにかに御萬歳	一ノ六一四
熊野	四ノ八四一	世盛り戀盛り	一ノ一八五
ゆゝしい	一ノ六五四		

與作丹波の	一ノ五二七	よしみつ	三ノ一五
夜さこい	一ノ三六七	よすが	一ノ二〇五
夜ざと	二ノ五二二	四筋に分れ	三ノ六四五
夜さどくなつた	一ノ七二九	よそのつらね	二ノ五九八
よさん	三ノ三七三	餘所の無常	一ノ四六三
善悪人の鑑	二ノ七〇三	よそく	一ノ三七〇
芳澤あやめ	二ノ五	與森	四ノ六三六
吉田	二ノ三〇七	四つ時	一ノ三八九
吉田屋	二ノ四〇〇	四つ橋	二ノ四九〇
吉野川	一ノ六〇二	四つ門	二ノ六五二
義教	二ノ五七三	淀と大和	二ノ七九八
吉原	四ノ二二二	世に歌はれん歌はゞ歌へ	一ノ三五五
吉原雀	一ノ四六三	よなへ	一ノ二八二
よしみ	一ノ二七六	世並のわるい疱瘡に二番湯	一ノ七五八

よね	一ノ三四五	夜見世を新たにお許し	一ノ七一四
よねづか	一ノ四三二	よみとかうとに	四ノ五三一
よねの風俗揚屋のかゝり	三ノ七〇六	讀人知れず	一ノ二六八
よねん	四ノ三三二	よんしやんく	二ノ四九二
餘の悪性	一ノ四四五	よめなる女房	三ノ七五
世の中に絶えて心中	二ノ五九九	嫁の手道具	三ノ三三五
世の中は兎にも角にも假の宿	四ノ六二	よもやはあるまい	一ノ二四九
呼ばゝるゝ	三ノ二五六	世々の日繼	四ノ三七
夜這屋	一ノ四六〇	寄親	二ノ四四六
よびつき	四ノ一八〇	四兩あし	二ノ五五九
宵寝まどひ	一ノ三七四	夜の編笠	一ノ三四五
呼子鳥覺束なくも	二ノ七四八	夜の御殿	四ノ七六八
與兵衛殿様	三ノ一八三	夜の鶴	二ノ四六二
よまひ事	二ノ六一九	夜の金	三ノ六八七

よろづにいみじきとも 二〇三五五
 萬の病は心から 三〇四九三
 萬代祝ふ 三〇一六八

〔ら〕

來世金 一〇六四六
 牢を立る 二〇九三三
 老少不定 三〇二四六
 浪藉 一〇二五四
 浪人 一〇二二八
 牢人 一〇二〇〇
 牢びつ 二〇六四五
 落居 三〇三三一
 落首洛外 一〇一八〇

らしや 一〇七四三
 羅生門 一〇二四九
 埒の明ぬ 一〇三三一
 螺鈿 三〇四〇二
 亂杭竹束 四〇一九七
 濫觴 一〇七四六
 蘭麝 三〇五一九
 卵塔 三〇五二二
 變輿馬車 三〇六一一
 羅網 四〇七七七

〔り〕

龍顏 四〇五三五
 龍眼肉 三〇五八七

龍骨車 二〇五九九
 流人 四〇二二二
 流星 四〇九一
 龍頭 四〇一五八
 りうていをさしむけらる 四〇一九八
 龍の駒にも蹉跌 四〇五七一
 利運過る 二〇七八七
 龍門に跳る魚も時あれば漁人の子 二〇七八七
 に落る 四〇四八九
 龍王も成佛 一〇四二二
 龍王にて死人を忌む 二〇三三七
 理をもつ女 一〇四〇二
 利がおどる 一〇四三八
 力彌 三〇三七三

利劔即是 二〇七二九
 利劔の鎌 四〇五一五
 りこん 一〇三四八
 驪山 三〇六一六
 李將軍 三〇二七八
 律義またい 一〇三三三
 りつかうりくいていの秘文 四〇八〇六
 律師 一〇五五六
 李踏天 二〇七五〇
 りはつ 一〇三三三
 輪廻 二〇七七
 輪廻の塵 三〇二四九
 輪廻深く 三〇一三一
 恪氣講 四〇一五

繪言 二ノ二六二
 繪言に楯つく 四ノ二一
 臨終の一念に攝取の光明を期し 四ノ六九九
 兩卿 四ノ三四
 りやうけ違ひ 三ノ七八一
 りやうせん 二ノ四七五
 料足 四ノ八三七
 兩頭の大蛇が常山の山の腰 四ノ七七六
 料理の献立能の番附 四ノ八五二
 歴劫不思議 二ノ一一〇
 呂洞賓が袖の中の青蛇 四ノ八五

[ろ]

留守をもさせん 二ノ四三〇

るふ 三ノ三五九
 靈地靈佛 一ノ三三二
 伶人 二ノ二二三
 冷泉 三ノ四四九
 例の童の言の葉 一ノ一八〇
 禮拜 一ノ五六一
 禮盤 二ノ一一〇
 了簡 二ノ一八六
 了簡つく 一ノ五〇六
 聊爾 一ノ三三六
 れそ 二ノ六二一
 連衝 三ノ五四九

遊臺寺 三ノ三三九
 蓮如様の名號 二ノ五一六
 戀慕の暗の開り 四ノ一七二

[ろ]

籠の町 四ノ三九〇
 六月はらへ又おかし 二ノ三三一
 六宮の粉黛も色を失ふ 四ノ七六七
 六儀 二ノ六八三
 六軒町のさよ格子 一ノ三八七
 六十餘州 二ノ二三五
 六十六部 二ノ三七五
 六時堂 一ノ三二七
 六神通の阿羅漢 四ノ二八六

六尺 一ノ二六一
 六道 二ノ六三〇
 六道の御供 三ノ五〇二
 六條河原 二ノ八七
 ろくで果まい 一ノ五一七
 ろくな事 一ノ三四五
 碌な死 三ノ二〇〇
 ろくに居る 一ノ三九七
 六波羅殿 三ノ四二六
 六波羅入道 三ノ三七二
 六脈浮大にして活々 三ノ四八七
 ろざんの雨 三ノ二二三
 呂州 二ノ六七五

【わ】

王義之 三ノ二九一
 黄金の鶏 二ノ二六七
 王城に立つ雲 四ノ二一一
 横道 四ノ三三三
 横着 一ノ一九六
 王は十善 四ノ三七三
 若夷 四ノ三七三
 若草山 四ノ五二五
 我里 四ノ二七
 若衆 一ノ五四八
 若徒 二ノ五八七
 和歌の浦 三ノ三四七

若林四郎右衛門 一ノ二二五
 若紫 三ノ四四八
 我めい月 三ノ二二四
 若紅葉 二ノ八三
 脇 一ノ三八七
 湧て流るゝ和泉の國 二ノ四二七
 わくせき 四ノ八五四
 わくや 四ノ三三九
 わくらは 四ノ八五四
 和光 四ノ八四
 わけある里 二ノ二二一
 わけの悪い 一ノ三四五
 若子 二ノ二七二
 わごせ 四ノ二九九

わざくれ 二ノ六一八
 和州法隆寺 三ノ六四四
 わしが位 四ノ八一〇
 鷺の峯 一ノ四〇八
 鷺の山 二ノ四七五
 わしや百まで 一ノ七二二
 わだかまり 二ノ四八〇
 綿車 三ノ七四八
 和田酒盛 二ノ三三七
 和田さんの大寄 四ノ六九四
 渡つたゝ 一ノ二七八
 渡殿 四ノ七
 和田の岬 四ノ五二四
 綿帽子 一ノ一八九

わたもち 四ノ九〇
 わつさり 一ノ二六五
 わなゝ 二ノ六四九
 鰐口 一ノ四一一
 わんざん 三ノ一三三
 わや 二ノ七〇四
 葉打つつち山 二ノ八六
 葉を焚く 一ノ五七七
 炭餅 一ノ四七九
 割菊の紋 二ノ五三〇
 破子 四ノ四九一
 割符 四ノ三四三
 わるい蟲 二ノ六四三
 悪業末社 四ノ三三二

わろ	四ノ三三九
わろびれぬ	一ノ二四六
我	二ノ二二三
我を誰とか思ふ	三ノ七八七
我が戀路は絲なき三味よ	一ノ二四三
割れ竹	一ノ四九七
我も昔しは	一ノ二六五
我等しき	二ノ六二八
我等は太鼓	一ノ三五八
われく	三ノ一一三



明治四十三年十一月廿二日印刷
 明治四十三年十一月廿五日發行

(正價金壹圓)

校訂者 水谷弓彦

發行者 荒川信賢

東京市小石川區音羽町四丁目十一番地

印刷者 渡邊八太郎

東京市牛込區横町七番地

發行所

東京市
早稲田

早稲田大學出版部

振替東京二二三番 電話番町三四三番